

Annals of Uonuma Kikan Byoin

vol.4 2019.4-2020.3



新潟大学地域医療教育センター
魚沼基幹病院

目次

巻頭言	魚沼基幹病院 病院長 鈴木 榮一
診療部	
・ 総合診療科	1
・ 循環器内科	3
・ 内分泌・代謝内科	5
・ 血液内科	6
・ 腎臓内科（リウマチ科・膠原病科）	9
・ 呼吸器・感染症内科	10
・ 消化器内科	13
・ 神経内科	19
・ 精神科	21
・ 小児科	24
・ 消化器外科・一般外科（乳腺外科）	26
・ 整形外科	29
・ 脳神経外科	36
・ 皮膚科	38
・ 泌尿器科	40
・ 耳鼻咽喉科	41
・ 産婦人科	43
・ 放射線治療科	44
・ 麻酔科	45
・ 救急科	46
・ 歯科口腔外科	47
看護部	49
医療安全管理室	50
地域医療部（患者サポートセンター）	51
薬剤部	52
医療技術部	
・ 放射線技術科	54
・ 臨床検査科	57
・ リハビリテーション技術科	59
・ 臨床工学科	61
・ 栄養管理科	62
魚沼基幹病院市民公開講座	63
院内感染対策研修会	63

巻 頭 言

魚沼基幹病院は、平成 27 年 6 月の開院から 5 年が経過しました。

魚沼地域は、国内有数の豪雪地であり、他県を超えるような広大な面積を有し、昨年国が公表した医師偏在指標で全国最下位の新潟県の中でも、医師不足がきわめて著しく、かつて高度医療や救急医療を圏域外に依存する必要がありました。

長年にわたる検討を経て、平成 27 年、国内でも類をみない壮大な医療再編が行われ、「地域全体でひとつの病院」を合言葉に、地域完結型医療を目指す計画の一環として、救急患者や重症患者の診療を担う魚沼医療圏の中核病院としての魚沼基幹病院が開院しました。まさに、“0”からの出発であり、ここまで病院として発展してきたことに、開院以来当院で頑張ってきた職員の皆さん、当院を暖かく応援してくださっている地域の医療機関、行政、そして住民の皆様に、あらためて感謝申し上げます。

魚沼基幹病院は、魚沼地域の皆さんに高度・救急医療を提供するとともに、新潟大学地域医療教育センター（正式には「新潟大学医歯学総合病院魚沼地域医療教育センター」）を併設し、診療機能に加えて、教育、研究、人材育成を目指すことを当初から目標に掲げています。そのために、診療部各診療科の医師、歯科医師に加え、看護部、医療安全管理室、地域医療部、薬剤部、医療技術部（放射線技術科、臨床検査科、リハビリテーション技術科、臨床工学科、栄養管理科）の皆さんが、教育、研究活動を行っています。その成果は、県内外の多くの学会、研究会、講演会等で発表されており、複数の論文として公表されています。また院内に限っても、市民公開講座や各種研修会、各部門からの応募による UKB リサーチ等の発表の場で、多職種間で共有されています。

本業績集 Annals of Uonuma Kikan Byoin は、平成 31 年度（令和元年度）の業績をまとめたものです。他職種が行っている教育・研究成果にも関心を持つとともに、スタッフ全員が、さらに活躍されることを期待します。

令和 2 年 8 月

一般財団法人新潟県地域医療推進機構
魚沼基幹病院 病院長 鈴木 榮一

論文(原著)

Kabasawa K, Tanaka J, Nakamura K, Ito Y, Yoshida K, Takachi R, Sawada N, Tsugane S, Narita I.

Study design and baseline profiles of participants in the Uonuma CKD Cohort Study in Niigata, Japan.

J Epidemiol 30(4): 170-176, 2019.

Kabasawa K, Hosojima M, Takachi R, Nakamura K, Ito Y, Saito A, Sawada N, Tsugane S, Tanaka J, Narita I.

Association of estimated dietary acid load with albuminuria in Japanese adults: a cross-sectional study.

BMC Nephrol 20(1): 194, 2019.

Maruyama K, Ikeda A, Ishihara J, Takachi R, Sawada N, Shimazu T, Nakamura K, Tanaka J, Yamaji T, Iwasaki M, Iso H, Tsugane S.

Food frequency questionnaire reproducibility for middle-aged and elderly Japanese.

Asia Pac J Clin Nutr 28(2): 362-370, 2019.

Kito K, Ishihara J, Yamamoto J, Hosoda T, Kotemori A, Takachi R, Nakamura K, Tanaka J, Yamaji T, Shimazu T, Ishii Y, Sawada N, Iwasaki M, Iso H, Sobue T, Tsugane S.

Variations in the estimated intake of acrylamide from food in the Japanese population.

Nutr J 19(1): 17, 2020.

Kitsu T, Kabasawa K, Ito Y, Kitamura K, Watanabe Y, Tanaka J, Nakamura K, Narita I.

Low serum 25-hydroxyvitamin D is associated with low grip strength in an older Japanese population.

J Bone Miner Metab 38(2): 198-204, 2020.

学会・研究会・講演会

Kabasawa K, Hosojima M, Kabsawa H, Kurosawa H, Hirayama Y, Nakamura K, Saito A, Matsushima K, Tanaka J, Narita I.

Association between urinary A-megalin and metabolic syndrome in Japanese adults.

Kidney Week 2019 (ポスター)

(Washington, DC (米国), 2019年11月7日)

木津妙子、田中純太、伊藤由美、蒲澤佳子.

地域在住中高年者のビタミンD栄養状態に影響する生活習慣との関連.

日本スポーツ栄養学会第6回大会・総会(口演)

(東京, 2019年8月24日)

田中純太、木津妙子、田中典子、石墨清美江、三留美和、西野勝敏、三浦哲、荒川正昭.

アスリートにおける鉄欠乏性貧血および非貧血性鉄欠乏症の頻度について.

第 30 回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (ポスター)

(横浜, 2019 年 11 月 16 日)

栗林麻里子、三留美和、佐々木雅咲子、田中典子、石墨清美江、田中純太、荒川正昭.

3 か月間の有酸素・レジスタンス運動と栄養の積極的介入による効果 - 肥満者の身体組成・機能の変化から -.

第 30 回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (ポスター)

(横浜, 2019 年 11 月 16 日)

木津妙子、田中純太、田中典子、石墨清美江、三留美和、佐々木雅咲子、栗林麻里子、荒川正昭.

3 か月の生活習慣介入における Cre/CysC 比と体力測定および体組成の測定値との関連.

第 30 回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (ポスター)

(横浜, 2019 年 11 月 16 日)

蒲澤佳子、田中純太、伊藤由美、吉田欣也、北村香織、中村和利、成田一衛.

一般住民における農作業、除雪作業と幸福度、生きがいの関連.

第 30 回日本疫学会学術総会 (ポスター)

(京都, 2020 年 2 月 22 日)

論文(総説)

Kumita S, Kasai T, et al.

Recommendation for 18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography imaging for diagnosis of cardiac sarcoidosis - 2018 update: Japanese Society of Nuclear Cardiology recommendations.
J Nucl Cardiol 26(4): 1414-1433, 2019.

Kumita S, Kasai T, et al.

Recommendation for 18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography imaging for diagnosis of cardiac sarcoidosis - 2018 update: Japanese Society of Nuclear Cardiology recommendations.
Ann Nucl Cardiol 5(1): 141-159, 2019.

著書など

笠井督雄.

論壇.

慈大新聞第 782 号: 研修における”内科病棟医制度”, 2 頁, 慈大新聞編集部, 2020.

笠井督雄.

心筋シンチグラムの検査概要.

非侵襲的虚血評価スタンダードマニュアル, 9-15 頁, MEDICAL VIEW, 2020.

笠井督雄.

ドブタミン負荷心筋シンチグラムが有用だった症例.

非侵襲的虚血評価スタンダードマニュアル, 312-315 頁, MEDICAL VIEW, 2020.

学会・研究会・講演会

笠井督雄.

魚沼基幹病院における循環器診療の実態と虚血性心疾患の診療.

第 738 回新潟医学会 (口頭)

(新潟, 2019 年 4 月 20 日)

笠井督雄.

循環器内科医が考える糖尿病治療について.

Web カンファレンス (口頭)

(新潟, 2019 年 6 月 3 日)

笠井督雄.

心筋血流 SPECT のピットフォール.

弥富地区心臓核医学講演会 (口頭)

(愛知, 2019年7月24日)

笠井督雄.

冠動脈疾患管理における負荷心筋シンチの役割.

柏循環器画像研究会 (口頭)

(千葉, 2019年8月2日)

笠井督雄.

冠動脈疾患管理における核医学検査の役割.

富士フィルム富山化学社員教育研修会 (口頭)

(新潟, 2019年9月11日)

笠井督雄.

一般演題: 研究から学ぶ 46 心血管リスク(2)

第 67 回日本心臓病学会 (コメンテーター)

(愛知, 2019年9月15日)

笠井督雄.

どうすれば虚血性心疾患の管理に心筋シンチを活かせるのか.

The 2nd Seminar in Nuclear Cardiology Niigata (口頭)

(新潟, 2019年10月15日)

笠井督雄.

アーチファクトを見抜くコツと予防法.

第 59 回日本核医学会 (口頭)

(愛媛, 2019年11月1日)

笠井督雄.

リスクから考える抗凝固療法 - Under dose は避けましょう -.

Web セミナー (心房細動トータルケア) (口頭)

(新潟, 2019年12月19日)

論文(症例報告)

Komatsu T, Ohara N, Hirota N, Yoneoka Y, Tani T, Terajima K, Ozawa T, Sone H.

Isolated Adrenocorticotrophic Hormone Deficiency Presenting with Severe Hyponatremia and Rhabdomyolysis:
A Case Report and Literature Review.
Am J Case Rep 20: 1857-1863, 2019.

Ohara N, Kobayashi M, Ikeda Y, Hoshi T, Morita S, Kanefuji T, Yagi K, Suda T, Takada T, Hasegawa G, Sato Y, Hirano K, Kosugi SI.

Non-insulin-dependent Diabetes Mellitus Induced by Immune Checkpoint Inhibitor Therapy in an Insulinoma-associated Antigen-2 Autoantibody-positive Patient with Advanced Gastric Cancer.
Intern Med 59(4): 551-556, 2020.

著書など

小原伸雅.

橋本病 甲状腺機能低下の状態.
みんなの診察室, 新潟日報新聞, 2019.

学会・研究会・講演会

小原伸雅.

東 6 病棟の看護師さんのための糖尿病教室.
魚沼基幹病院院内レクチャー (スライド講演) (魚沼, 2019 年 7 月 18 日)

日向裕大、小原伸雅.

重症低ナトリウム血症の後にラトケ嚢胞による中枢性尿崩症を生じた 1 例.
第 145 回日本内科学会信越地方会 (スライド発表) (新潟, 2019 年 10 月 12 日)

日向裕大、小原伸雅.

青年期の急性発症 1 型糖尿病の二例.
第 57 回日本糖尿病学会関東甲信越地方会 (スライド発表) (横浜, 2020 年 1 月 18 日)

論文(原著)

Kawano N, Wada H, Uchiyama T, Kawasugi K, Madoiwa S, Takezako N, Suzuki K, Seki Y, Ikezoe T, Hattori T, Okamoto K.

Analysis of the association between resolution of disseminated intravascular coagulation (DIC) and treatment outcomes in post-marketing surveillance of thrombomodulin alpha for DIC with infectious disease and with hematological malignancy by organ failure.

Thromb J 18: doi: 10.1186/s12959-020-0216-6 , 2020.

論文(総説)

関義信.

悪性腫瘍(がん)関連血栓症.

血栓止血 30(1): 38-42, 2019.

論文(症例報告)

Uemura S, Kobayashi H, Seki Y, Okoshi Y, Sone H, Nomoto N.

Successful treatment with edoxaban for disseminated intravascular coagulation in a case of aortic dissection complicated with immune thrombocytopenic purpura.

Intern Med doi: 10.2169/internalmedicine.4255-19, 2020.

学会・研究会・講演会

Seki Y, Nagano O.

Behavior of von Willebrand factor in essential thrombocythemia.

International Society on Thrombosis and Hemostasis (ISTH) 2019 (Poster)

(Melbourne (オーストラリア), 2019年7月8日)

関義信.

原因不明の出血症状を認めたときの考え方 -DICも含めて-

新発田北蒲原医師会学術講演会(講演)

(新発田市, 2019年4月17日)

関義信.

シンポジウム16 診断に迷う出血性疾患: VWF活性低下関連疾患.

第67回日本輸血・細胞治療学会学術総会(口演)

(熊本市, 2019年5月24日)

関義信.

ACP に関してうまくいった症例、うまくいかなかった症例の急性期病院からの提示.

魚沼 Common Disease 研究会 (講演) (十日町市, 2019 年 6 月 14 日)

関義信、長野央希.

本態性血小板血症(essential thrombocythemia; ET)における von Willebrand 因子 (VWF) の動態.

第 41 回日本血栓止血学会学術集会 (口演) (津市, 2019 年 6 月 21 日)

関義信.

がん診療において知っておきたい血栓止血学.

山梨 PE/DVT セミナー2019 (講演) (甲府市, 2019 年 8 月 1 日)

関義信.

当院でのカルフィルズミブの使用経験.

Multiple Myeloma Seminar 2019 in 長岡 (講演) (長岡市, 2019 年 8 月 28 日)

関義信.

CML の治療中に認められる血管障害について.

BMS Hematological Web Seminar (講演) (日本全国, 2019 年 9 月 19 日)

関義信.

血液内科で一番患者さんが多いリンパ腫を知りましょう.

南魚沼医師会 三木会 (講演) (南魚沼市, 2019 年 10 月 16 日)

関義信.

DIC/TMA.

2019 血栓止血学会教育セミナー (講演) (船橋市, 2019 年 10 月 26-27 日)

関義信.

造血器悪性腫瘍に合併した DIC 診療.

第 11 回埼玉 DIC フォーラム (講演) (大宮市, 2019 年 10 月 31 日)

関義信.

症例を振り返って 一多発性骨髄腫と再生不良性貧血を中心に.

第 4 回魚沼地区血液疾患勉強会 (講演) (南魚沼市, 2019 年 11 月 6 日)

関義信.

血液凝固異常・血栓症の病態生理と抗凝固薬の特徴と使い分け.

2019 年度新潟薬科大学「薬剤師生涯教育講座」(講演) (新潟市, 2019 年 11 月 15 日)

関義信.

血友病診療連携の現状と課題.

Toyama Hemophilia Seminar 2019 特別講演 (講演)

(富山市, 2019年11月21日)

関義信.

多発性骨髄腫治療について -Elotuzumab を中心に-

中越血液疾患談話会 (講演)

(長岡市, 2019年12月2日)

関義信.

HIV 感染症の基礎知識.

令和元年度 HIV/AIDS 療養支援研修会 (講演)

(南魚沼市, 2019年12月23日)

関義信.

がんについて -検診のすすめ、治療について-

楽語い講座 2019 (講演)

(魚沼市, 2020年1月7日)

関義信、本田剛一.

DIC 治療からみた造血器悪性腫瘍

-病型分類別の DIC の臨床的特徴とトロンボモデュリン アルファの安全性・有効性-

第 14 回日本血栓止血学会学術標準化委員会 (SSC) シンポジウム (口演)

(東京, 2020年2月22日)

河野徳明、和田英夫、内山俊正、川杉和夫、窓岩清治、竹迫直樹、鈴木圭、関義信、池添隆之、服部剛、岡本好司.

播種性血管内凝固症候群 (DIC) 離脱と転帰の相関に関するトロンボモデュリン アルファ製造販売後調査での感染症 DIC および造血器悪性腫瘍 DIC を対象とした解析.

第 14 回日本血栓止血学会学術標準化委員会 (SSC) シンポジウム (口演)

(東京, 2020年2月22日)

論文(症例報告)

Ryo Koda, Masafumi Tsuchida, Noriaki Iino, Masaki Murata, Kohei Inui, Yuki Nakagawa, Tsutomu Nishiyama,
Yohei Ikeda, Go Hasegawa, Fumiaki Oguma, Ichiei Narita.

IgG4-related Periarthritis Successfully Diagnosed by an Alternative Prostate Biopsy.

Intern Med 58(16): 2401-2406, 2019.

学会・研究会・講演会

甲田亮、宮崎慧、飯野則昭、佐藤洋、生越章、成田一衛.

S 状結腸癌術後にビタミン D 欠乏性骨軟化症を発症した神経性やせ症の 1 例.

第 49 回東部腎臓学会学術集会総会 (口演)

(東京, 2019 年 10 月 4 日)

甲田亮.

知っておくと役立つ (かもしれない) がん免疫療法の irAE と腎病変.

中越 Kidney Academic Seminar (口演)

(新潟, 2019 年 11 月 14 日)

宮崎慧、甲田亮、飯野則昭.

イピリムマブ、ニボルマブ化学療法中に下垂体炎、巨細胞性血管炎を発症した症例.

悠腎会 (口演)

(新潟, 2019 年 11 月 21 日)

甲田亮.

明日から役立つ CKD 診療.

十日町市中魚沼郡医師会学術講演会 (口演)

(新潟, 2020 年 2 月 6 日)

論文(原著)

Tazawa R, Ueda T, Abe M, Tatsumi K, Eda R, Kondoh S, Morimoto K, Tanaka T, Yamaguchi E, Takahashi A, Oda M, Ishii H, Izumi S, Sugiyama H, Nakagawa A, Tomii K, Suzuki M, Konno S, Ohkouchi S, Tode N, Handa T, Hirai T, Inoue Y, Arai T, Asakawa K, Sakagami T, Hashimoto A, Tanaka T, Takada T, Mikami A, Kitamura N, Nakata K.
Inhaled GM-CSF for Pulmonary Alveolar Proteinosis.
N Engl J Med 381(10): 923-932, 2019.

Nakata K, Sugi T, Kuroda K, Yoshizawa K, Takada T, Tazawa R, Ueda T, Aoki A, Abe M, Tatsumi K, Eda R, Kondoh S, Morimoto K, Tanaka T, Yamaguchi E, Takahashi A, Oda M, Ishii H, Izumi S, Sugiyama H, Nakagawa A, Tomii K, Suzuki M, Konno S, Ohkouchi S, Hirano T, Handa T, Hirai T, Inoue Y, Arai T, Asakawa K, Sakagami T, Tanaka T, Mikami A, Kitamura N.
Validation of a New Serum Granulocyte/Macrophage Colony-Stimulating Factor Autoantibody Testing Kit.
ERJ Open Res 6(1): 00259-2019, 2020.

Ko Y, Asakawa K, Tobino K, Oguma T, Hirai T, Takada T, Takahashi K, Seyama K, The Multicenter Lymphangioleiomyomatosis Sirolimus Trial for Safety Study Group
Quantitative analysis of computed tomography of the lungs in patients with lymphangioleiomyomatosis treated with sirolimus.
Heliyon 6(2): e03345, 2020.

Asakawa K, Yoshizawa K, Aoki A, Kimura Y, Tanaka T, Ohashi K, Hayashi M, Kikuchi T, Sato S, Takada T.
Comparison of cytokine profiles between anti-ARS antibody-positive interstitial lung diseases and those with anti-MDA-5 antibodies.
Clin Rheumatol 39(7): 2171-2178, 2020.

論文(症例報告)

Sato S, Akasaka K, Ohta H, Tsukahara Y, Kida G, Tsumiyama E, Kusano K, Oba T, Nishizawa T, Kawabe R, Yamakawa H, Amano M, Matsushima H, Takada T.
Autoimmune Pulmonary Alveolar Proteinosis Developed During Immunosuppressive Treatment in Polymyositis with Interstitial Lung Disease: a case report.
BMC Pulm Med 20(1): 84, 2020.

著書など

高田俊範

特発性間質性肺炎は本当に原因不明の間質性肺炎か？一定量の元素分析を用いた解析—

公益信託「岡本敏記念肺線維症研究基金」記念誌—27年のあゆみ—, 38頁, COSMIC, 2019.

高田俊範

リンパ脈管筋腫症.

今日の治療指針 2020年版, 324-325頁, 医学書院, 2020.

学会・研究会・講演会

Bamba Y, Moro H, Nagano K, Aoki N, Koizumi T, Ohshima Y, Watanabe S, Koya T, Takada T, Kikuchi T.

Comparison of the new Wako beta-D-glucan measurement kit and the four conventional kits for the diagnosis of the invasive fungal infections.

29th ECCMID (ポスター)

(Amsterdam (オランダ), 2019年4月13日)

Takada T, Aoki A, Ohashi K, Kimura Y, Hayashi M, Kikuchi T, Sato S.

Differences in Cytokine Profiles Between Antisynthetase Syndrome and MDA-5-Associated Dermatomyositis.

ATS 2019 international conference (ポスター)

(Dallas (米国), 2019年5月19日)

Ohashi K, Ito R, Takada T.

Analysis of serum cytokine changes caused by PMX-DHP therapy for acute respiratory failure.

ATS 2019 international conference (ポスター)

(Dallas (米国), 2019年5月19日)

高田俊範、青木亜美、大橋和政、木村陽介、林正周、菊地利明

抗MDA-5抗体陽性皮膚筋炎にともなう間質性肺炎におけるIL-15の役割

第59回日本呼吸器学会学術講演会 (ポスター)

(東京, 2019年4月12日)

大橋和政、高田俊範、伊藤竜

急性呼吸不全に対するエンドトキシン吸着 (PMX-DHP) 療法に伴う血清サイトカイン濃度の変化

第59回日本呼吸器学会学術講演会 (ポスター)

(東京, 2019年4月14日)

高田俊範、吉澤和孝、木村陽介、大橋和政、林正周、菊地利明、佐藤慎二

抗MDA-5抗体陽性皮膚筋炎にともなう間質性肺炎におけるIL-15の役割

第108回膠原病研究会 (口演)

(新潟, 2019年6月4日)

研究費(科学研究費)

大橋和政：代表 基盤研究費 (C) 17K09605 2017-2019 年度

急速進行性間質性肺疾患に対するポリミキシン B 吸着カラム療法の作用機序の解明

高田俊範：分担 基盤研究費 (C) 17K09635 2017-2019 年度

免疫組織化学と元素分析による肺組織解析－職業性肺疾患の正しい病態理解のために－

高田俊範：分担 基盤研究費 (C) 17K10015 2017-2019 年度

敗血症急性期において鉄調節因子ヘプシジンが果たす役割～新規治療法の開発に向けて

研究費(その他)

井上義一 (高田俊範、分担研究者)：日本医療研究開発機構 (難治性疾患実用化研究事業) 2017-2019 年度

肺胞蛋白症診療に直結するエビデンス創出研究：重症難治例の診断治療管理.

論文(原著)

Yokoo T, Kanefuji T, Suda T, Nagayama I, Hoshi T, Abe S, Morita S, Kamimura H, Kamimura K, Tsuchiya A, Takamura M, Yagi K, Terai S.

Rational arrangement of measuring shear wave speed in the liver.

World J Gastroenterol 25(20): 2503-2513, 2019.

Morita S, Arai Y, Sugawara S, Sone M, Tomita K, Ishii H, Terai S.

Percutaneous gastrojejunostomy catheter placement using a slow-leak balloon through the reconstructed gastric tube after esophagectomy.

J Vasc Interv Radiol 31(3): 478-481, 2020.

論文(総説)

八木一芳、寺井崇二.

A-B 分類

胃と腸 54(5): 614-615, 2019.

八木一芳、永山逸夫、星隆洋、阿部聡司、森田慎一、須田剛士、佐藤祐一、寺井崇二.

A 型胃炎の画像診断-拡大内視鏡所見を中心に.

胃と腸 54(7): 1010-1018, 2019.

八木一芳.

除菌後発見胃がんの内視鏡診断 -Green epithelium の紹介も含めて.

The GI Forefront 15(2): 105-109, 2020.

八木一芳、寺井崇二.

除菌後胃がんの通常内視鏡および NBI 内視鏡での診断のコツ.

消化器内科 2(3): 31-38, 2020.

論文(症例報告)

Morita S, Yagi K, Terai S.

Endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy using a novel covered metallic stent with a fine-diameter delivery system.

Dig Endosc 31(3): e60-61, 2019.

Morita S, Suda T, Terai S.

Submucosal painting for gastroduodenal stent placement.

Dig Endosc 31(3): e64-65, 2019.

Morita S, Yagi K, Terai S.

Endoscopic retrieval of a button battery using the tip of a magnetic tube.

Dig Endosc 31(3):e116-117, 2019.

松田圭二、八木一芳.

第 58 回「胃と腸」大会から.

胃と腸 54(13): 1764-1768, 2019.

Mizusawa T, Kamimura K, Sato H, Suda T, Fukunari H, Hasegawa G, Shibata O, Morita S, Sakamaki A, Yokoyama J, Saito Y, Hori Y, Maruyama Y, Yoshimine F, Hoshi T, Morita S, Kanefuji T, Kobayashi M, Terai S.

Methotrexate-related lymphoproliferative disorders in the liver: Case presentation and mini-review.

World J Clin Cases 7(21): 3553-3561, 2019.

著書など

阿部聡司.

肝血管腫 無症状なら治療は不要.

みんなの診察室, 新潟日報新聞, 2019.

森田慎一.

勤務医の休日.

にいがた勤務医ニュース 第 138 号, 新潟県医師会, 2019.

学会・研究会・講演会

Kazuyoshi Yagi.

Gastric adenoma in Japan definition - the method of differential diagnosis from cancer and its importance-

Guizhou Society of Digestive Disease (特別講演)

(貴州省 (中国), 2019 年 6 月 22 日)

Kazuyoshi Yagi.

Magnifying endoscopic diagnosis for gastric cancer and gastritis.

常州市内視鏡研究会 (講演)

(常州市 (中国), 2019 年 7 月 6 日)

Kazuyoshi Yagi.

The knack of detecting gastric cancer after successful eradication.

常州市内視鏡研究会（講演）

（常州市（中国），2019年9月28日）

Kazuyoshi Yagi.

The knack of detecting gastric cancer after successful eradication.

Endoscopic and pathological diagnosis of early gastric cancer post Helicobacter pylori eradication salon

in Zunyi（講演）

（貴州省遵義市（中国），2019年10月12日）

Morita S, Hoshi T, Abe S, Yagi K, Suda T, and Terai S.

Feasibility of endoscopic ultrasound-guided biliary drainage replacement of percutaneous transhepatic biliary drainage.

United European Gastroenterology Week 2019（ポスター）

（Barcelona（スペイン），2019年10月22日）

Kazuyoshi Yagi.

The knack of detecting gastric cancer after successful eradication.

Nanjing Summit Forum of Holistic Digestive Endoscopology（特別講演）

（南京（中国），2019年11月9日）

Suda T.

NonAlcoholic Fatty Liver Diseases -Efficacy and pitfalls of liver stiffness measurement for the management of NAFLD-

A lecture at Sebelas Maret University（講演）

（Surakarta（インドネシア），2020年3月4日）

Suda T, Kanefuji T, Abe A, Hoshi T, Abe S, Morita S, Yagi K, Hatakeyama S, Terai S.

Clinicopathological characteristics leading to fibrous progression of the liver in nonalcoholic fatty liver disease.

Asian Pacific Association for the Study of the Liver 2020（ポスター）（Bali（インドネシア），2020年3月5日）

Abe S, Suda T, Kanefuji T, Hoshi T, Morita S, Yagi K, Terai S.

Efficacy of liver stiffness measurement in the left lobe.

Asian Pacific Association for the Study of the Liver 2020（ポスター）

（Bali（インドネシア），2020年3月5日）

Prasetyo D, Morita S, Suda T, Hoshi T, Abe S, Yagi K, Terai S.

A case of transcatheter arterial embolization using microspheres for painful bone metastasis of cholangiocellular carcinoma.

Asian Pacific Association for the Study of the Liver 2020（ポスター）

（Bali（インドネシア），2020年3月5日）

Kanefuji T, Saito Y, Hoshi T, Abe S, Morita S, Suda T, Yagi K, Terai S.

The impact of the liver volume change on shear wave velocity (SWE).

Asian Pacific Association for the Study of the Liver 2020（口演）

（Bali（インドネシア），2020年3月6日）

八木一芳.

除菌後胃粘膜内視鏡像の特徴と除菌後発見胃癌.

消化器疾患の診断と治療の最前線 (講演)

(埼玉県川口市, 2019年4月5日)

八木一芳.

NBI 併用胃拡大内視鏡診断に必要な知識 - その A to Z -

会津医療センター勉強会 第1回胃拡大内視鏡研究会 (講演)

(会津若松市, 2019年4月8日)

星隆洋.

新規慢性便秘症治療薬の位置付け.

慢性便秘症に対する新しい治療戦略を考える会 (講演)

(新潟, 2019年4月16日)

須田剛士

The next step in personalized medicine.

ランツの会 (講演)

(魚沼市, 2019年4月17日)

八木一芳.

NBI 併用胃拡大内視鏡診断に必要な知識 - その A to Z -

第12回仙台食道・胃拡大内視鏡研究会 (講演)

(仙台, 2019年4月18日)

須田剛士、兼藤努、寺井崇二.

非アルコール性脂肪肝疾患における脂肪酸摂取と肝硬度との関連.

第105回日本消化器病学会総会 (ポスター)

(金沢市, 2019年5月9日)

八木一芳、佐藤祐一、寺井崇二.

ヘリコバクターピロリ感染における腸上皮化生と癌の関係の検討.

第105回日本消化器病学会総会 (シンポジウム)

(金沢, 2019年5月10日)

八木一芳.

除菌後胃粘膜と除菌後発見早期胃癌の内視鏡的特徴像と組織像.

横浜消化器内視鏡医会 (講演)

(横浜, 2019年5月18日)

八木一芳、佐藤祐一、寺井崇二.

NBI 併用胃拡大内視鏡における色調の有用性.

第97回日本消化器内視鏡学会総会 (シンポジウム)

(東京, 2019年6月1日)

八木一芳.

除菌後胃癌の内視鏡診断・組織像との対比から学んだことを含めて.

第85回日本病理学会近畿支部学術集会 (教育講演)

(京都, 2019年6月15日)

森田慎一.

胆膵疾患の intervention 治療.

塩沢医会講演会 (口演)

(南魚沼, 2019年6月25日)

八木一芳.

除菌後胃粘膜と除菌後発見早期胃癌の内視鏡的特徴像と組織像 最近の薬物治療も含めて.

宮崎木曜会学術講演会 (講演)

(宮崎, 2019年6月27日)

八木一芳.

除菌後胃粘膜と除菌後発見胃癌の内視鏡的特徴像と組織像.

第122回日本消化器内視鏡学会四国支部例会 (特別講演)

(高松, 2019年6月29日)

八木一芳.

除菌後胃粘膜と除菌後発見胃癌の内視鏡特徴像と組織像.

拡大内視鏡の会 (講演)

(つくば市, 2019年7月4日)

八木一芳.

除菌後発見胃癌の内視鏡診断 -Green epithelium の紹介も含めて-

4th GAST SUMMIT JAPAN 学術講演会 (講演)

(東京, 2019年8月3日)

八木一芳.

除菌後胃粘膜と除菌後発見胃癌の内視鏡特徴像と組織像

会津医療センター勉強会 第2回胃拡大内視鏡研究会 (講演)

(会津若松市, 2019年8月5日)

森田慎一、星隆洋、阿部聡司、八木一芳、須田剛士、長谷川剛、岩崎寿光、岸庸二、平岡伸介、寺井崇二

同時性多発胆管癌の一例.

第71回日本消化器画像診断研究会 (口演)

(和歌山, 2019年9月20日)

八木一芳.

胃の腺腫 -癌との鑑別点とその重要性-

会津医療センター勉強会 第3回胃拡大内視鏡研究会 (講演)

(会津若松市, 2019年10月25日)

八木一芳、永山逸夫、星隆洋、阿部聡司、森田慎一、須田剛士、佐藤祐一、寺井崇二.

除菌後胃癌診断のきっかけとなる通常内視鏡像、NBI内視鏡像の検討.

JDDW2019 (ポスター)

(神戸, 2019年11月22日)

森田慎一、星隆洋、阿部聡司、八木一芳、須田剛士、菅原俊祐.

胆管細胞癌の疼痛性骨転移に対し球状塞栓物質を用いた動脈塞栓術を行い症状緩和を得た1例.

第9回緩和IVR研究会 (口演)

(東京, 2019年12月7日)

八木一芳.

ピロリ陰性時代における胃癌の内視鏡診断.

第 31 回日本消化器内視鏡学会甲信越セミナー (講演)

(新潟, 2020 年 1 月 19 日)

八木一芳.

除菌後胃癌の背景粘膜からみた胃癌発見のコツ.

第 47 回重点卒後教育セミナー (講演)

(横浜, 2020 年 2 月 16 日)

須田剛土.

肝臓、代謝の中心臓器 —その機能と注意点—.

魚沼保健所 肝炎講演会・相談会 (講演)

(魚沼市, 2020 年 2 月 19 日)

研究費(科学研究費)

八木一芳 : 代表 基盤研究費 (C) 19K08389 2019-2022 年度

胃癌発生腺管の 3D 組織構築と遺伝子解析からの検討

八木一芳 : 分担 基盤研究費 (C) 19K08462 2019-2022 年度

小腸絨毛基底膜における「窓」の脂肪吸収に対する調節機能の解明

受賞

須田剛土 : 研修生受け入れ. 日本消化器病学会 Research Fellowship Program Award

(第 61 回日本消化器病学会大会, 2019 年 11 月)

論文(原著)

Cortelli P, Calandra-Buonaura G, Benarroch EE, Giannini G, Iranzo A, Low PA, Martinelli P, Provini F, Quinn N, Tolosa E, Wenning GK, Abbruzzese G, Bower P, Alfonsi E, Ghorayeb I, Ozawa T, Pacchetti C, Pozzi NG, Vicini C, Antonini A, Bhatia KP, Bonavita J, Kaufmann H, Pellecchia MT, Pizzorni N, Schindler A, Tison F, Vignatelli L, Meissner WG.

Stridor in Multiple System Atrophy: Consensus Statement on Diagnosis, Prognosis, and Treatment.
Neurology 93(14): 630-639, 2019.

Ozawa T, Shimizu H, Matsui H, Onodera O, Kakita A.

Shrinkage of the myenteric neurons of the small intestine in patients with multiple system atrophy.
Auton Neurosci: Basic and Clinical 221: 1-3, 2019.

論文(総説)

小澤鉄太郎.

シヌクレイノパチーにおける腸脳軸の障害.
Medical Science Digest 45: 58-61, 2019.

小澤鉄太郎.

MSA-P と MSA-C は同じ疾患か?
MDSJ Letters 12(2): 1-3, 2019.

著書など

小澤鉄太郎.

带状疱疹・単純性疱疹.
神経・精神疾患による消化管障害ベッドサイドマニュアル, 330-331 頁, 中外医学社, 2019.

学会・研究会・講演会

小澤鉄太郎.

臨床医から見た消化管栄養感知と迷走神経機能.

第 72 回日本自律神経学会総会シンポジウム (講演)

(北九州市, 2019 年 11 月 2 日)

研究費(科学研究費)

小澤鉄太郎：代表 基盤研究費（C）19K07957 2019-2021 年度

シヌクレイノパチー前駆症状に関与する口腔微生物神経毒の定量的検討

学会・研究会・講演会

坪谷隆介、茂木崇治、福井直樹、橋尻洗陽、須貝拓朗、江川純、三留節子、荒木理恵、池睦美、生野寿史、山口雅幸、高桑好一、榎本隆之、染矢俊幸。

妊産婦の発達特性が子へのボンディングに与える影響について。

第 115 回日本精神神経学会学術総会（ポスター）

（新潟、2019年6月20-22日）

坪谷隆介、常山暢人、鈴木雄太郎、福井直樹、須貝拓朗、渡邊純蔵、小野信、染矢俊幸。

Fluvoxamine から paroxetine への置換における有用性の検討。

第 115 回日本精神神経学会学術総会（ポスター）

（新潟、2019年6月20-22日）

福井直樹、茂木崇治、橋尻洗陽、坪谷隆介、須貝拓朗、江川純、染矢俊幸。

新潟大学精神医学教室で現在進めている研究（4）周産期メンタルヘルス研究。

第 115 回日本精神神経学会学術総会（ポスター）

（新潟、2019年6月20-22日）

恩田啓伍、湯川尊行、井上絵美子、染矢俊幸。

エナジードリンクの長期飲用を中止直後に統合失調症様症状が出現した 1 例。

第 115 回日本精神神経学会学術総会（ポスター）

（新潟、2019年6月20-22日）

坂上仁、横山裕一、折目直樹、恩田啓伍、竹内真理、佐藤隆明、福武嶺一、金子正儀、堀内綾乃、生野寿史、高桑好一、染矢俊幸。

妊娠中に精神症状を呈し、急性間欠性ポルフィリン症が疑われた 1 例。

第 115 回日本精神神経学会学術総会（ポスター）

（新潟、2019年6月20-22日）

恩田啓伍、須貝拓朗、鈴木雄太郎、山崎學、下田和孝、森隆夫、尾関祐二、松田ひろし、菅原典夫、古郡規雄、岡本呉賦、寒河江豊昭、染矢俊幸。

外来・入院統合失調症患者における生活習慣病罹患率の差異。

第 115 回日本精神神経学会学術総会（ポスター）

（新潟、2019年6月20-23日）

恩田啓伍、折目直樹、横山裕一、染矢俊幸。

高齢者の嫉妬妄想がドネペジルにより改善した 1 例。

第 115 回日本精神神経学会学術総会（ポスター）

（新潟、2019年6月20-23日）

渡部雄一郎、保谷智史、井桁裕文、森川亮、井上絵美子、澁谷雅子、江川純、染矢俊幸。

新潟大学精神医学教室で現在進めている研究（1）分子遺伝学研究。

第 115 回日本精神神経学会学術総会（ポスター）

（新潟、2019年6月20-23日）

井上絵美子、谷卓、小澤鉄太郎、寺島健史、湯川尊行、有波浩、恩田啓伍、染矢俊幸。

無症候性に進行し躁症状で発見された神経梅毒の一例。

第 115 回日本精神神経学会学術総会（ポスター）

（新潟， 2019 年 6 月 20-23 日）

湯川尊行、小原伸雅、新藤雅延、井上絵美子、有波浩、恩田啓伍、渡部雄一郎、染矢俊幸。

2 型糖尿病を合併した治療抵抗性統合失調症にクロザピンを用いた 1 例。

第 115 回日本精神神経学会学術総会（口演）

（新潟， 2019 年 6 月 20-23 日）

湯川尊行、寺島健史、井上絵美子、有波浩、恩田啓伍、染矢俊幸。

レビー小体病を併発した統合失調症の 1 例。

第 115 回日本精神神経学会学術総会（口演）

（新潟， 2019 年 6 月 20-23 日）

湯川尊行、小澤鉄太郎、寺島健史、伊藤岳、渡部雄一郎、信田慶太、菊地佑、染矢俊幸。

著しい精神運動興奮により措置入院に至った抗 NMDA 受容体脳炎の 1 例。

第 115 回日本精神神経学会学術総会（ポスター）

（新潟， 2019 年 6 月 20-23 日）

湯川尊行、小松健、小原伸雅、土田雅史、若杉正嗣、井上絵美子、有波浩、恩田啓伍、染矢俊幸。

産後うつ病として治療されていたクッシング症候群の 1 例。

第 115 回日本精神神経学会学術総会（ポスター）

（新潟， 2019 年 6 月 20-23 日）

湯川尊行、岩倉百合子、武井延之、斎藤摩美、渡部雄一郎、豊岡和彦、五十嵐道弘、新里和弘、大島健一、國井泰人、矢部博興、松本純弥、和田明、日野瑞城、入谷修司、丹羽真一、竹内亮子、高橋均、柿田明美、染矢俊幸、那波宏之。
統合失調症患者における脳内コンドロイチン硫酸鎖の変化。

第 115 回日本精神神経学会学術総会（口演）

（新潟， 2019 年 6 月 20-23 日）

渡部雄一郎、須貝拓朗、湯川尊行、小野信、川嶋義章、丸山直樹、西田牧衛、田中弘、北村秀明、染矢俊幸。

新潟大学精神科専門研修プログラムの特色。

第 115 回日本精神神経学会学術総会（ポスター）

（新潟， 2019 年 6 月 20-23 日）

井上絵美子、谷卓、小澤鉄太郎、寺島健史、湯川尊行、有波浩、恩田啓伍、染矢俊幸。

無症候性に進行し躁症状で受診に至った神経梅毒の一例。

第 39 回日本精神科診断学会（ポスター）

（京都， 2019 年 9 月 21 日）

湯川尊行、小松健、小原伸雅、土田雅史、若杉正嗣、井上絵美子、有波浩、恩田啓伍、染矢俊幸。

産後うつ病と診断されていた ACTH 依存性クッシング症候群の 1 例。

第 39 回日本精神科診断学会（ポスター）

（京都， 2019 年 9 月 21 日）

湯川尊行、井上絵美子、坪谷隆介、恩田啓伍。

うつ状態に対してデュロキセチンを投与後に妄想が出現した1症例。

令和元年度新潟精神医学会（口演）

（新潟，2019年10月19日）

坪谷隆介、小澤鉄太郎、寺島健史、谷卓、小泉暢大栄、新藤雅延、矢部正浩、五十嵐一也、湯川尊行、井上絵美子、恩田啓伍。

ニボルマブ関連自己免疫性脳炎によるせん妄の一症例。

第22回新潟総合病院精神医学研究会（口演）

（新潟，2020年2月8日）

研究費(科学研究費)

湯川尊行：代表 若手研究 19K17083 2019-2023年度

統合失調症患者における脳内ヘパラン硫酸プロテオグリカンの変化

受賞

坪谷隆介：妊産婦の発達特性が子へのボンディングに与える影響について。優秀発表賞

（第115回日本精神神経学会学術総会，2019年6月）

論文(総説)

鈴木博.

遺伝性不整脈の診断と治療 : QT 延長症候群, QT 短縮症候群, CPVT, Brugada 症候群について.

日本小児循環器学会雑誌 35(4): 249-263, 2019.

論文(症例報告)

Harada M, Suzuki H, Ohno S, Ozawa J, Saitoh A, Horie M.

Dynamic QT Changes in Long QT Syndrome Type 8.

Circ J 83(7): 1614, 2019.

稲葉聡、丸山馨、下妻大毅、馬場恵史、目黒茂樹、高橋勇弥、添野愛基、渡辺健一、小林玲、沼田修、田中篤、笠原靖史、久保暢大、石井孝規、岩渕晴子、今村勝、今井千速.

肺炎様症状で発症した横紋筋肉腫の 1 例と後方視的なエックス線所見の検討.

長岡赤十字病院医学雑誌 32(1): 37-41, 2019.

学会・研究会・講演会

Tatsuki Ikuse, Yuta Aizawa, Takayuki Yamanaka, Rie Habuka, Kanako Watanabe, Taketo Otsuka, Akihiko Saitoh.

Outbreak of Enterovirus D68 among Children in Japan and Simultaneous Circulation of Clade B3 in Europe.

IDWeek2019 (ポスター)

(Washington, D.C. (米国), 2019 年 10 月 2-6 日)

稲葉聡、田中篤、鏡雅代、長崎啓祐.

SGA 性低身長に GH 分泌不全と中枢性思春期早発症を合併した Temple 症候群の 1 例.

第 122 回日本小児科学会学術集会 (口演)

(金沢, 2019 年 4 月 19-21 日)

鈴木博、稲葉聡、山田明日実、幾瀬樹、田嶋直哉、小嶋絹子、内山聖.

学校心臓検診における包括的評価の試み.

第 38 回新潟小児循環器懇談会 (口演)

(新潟, 2019 年 9 月 7 日)

稲葉聡、嶋ろひ、廣嶋省太、澤野堅太郎、佐々木直、佐藤英利、鏡雅代、長崎啓祐.

Temple 症候群に対する成長ホルモン治療の有用性の検討.

第 53 回日本小児内分泌学会学術集会 (ポスター)

(京都, 2019 年 9 月 26-28 日)

鈴木博、稲葉聡、橋尻明日実、幾瀬樹、田嶋直哉、小嶋絹子、内山聖。

小児における体格と心電図指標の関連。

第 24 回日本小児心電学会（口演）

（松山市， 2019 年 11 月 29-30 日）

鈴木博、稲葉聡、橋尻明日実、幾瀬樹、田嶋直哉、小嶋絹子、白井崇準、内山聖。

小児における体格と心電図指標の関連 —魚沼市学校検診での包括的評価の試み—。

第 231 回日本小児科学会新潟地方会（口演）

（新潟， 2019 年 12 月 14 日）

稲葉聡、鈴木博、橋尻明日実、幾瀬樹、田嶋直哉、小嶋絹子、内山聖。

魚沼地域の川崎病の現状 —川崎病の年次別の特徴の検討—。

第 16 回新潟川崎病研究会（口演）

（新潟， 2020 年 2 月 8 日）

論文(原著)

Kakuta T, Kosugi S, Ichikawa H, Hanyu T, Ishikawa T, Kanda T, Wakai T.

Palliative interventions for patients with incurable locally advanced or metastatic esophageal carcinoma.
Esophagus 16(3): 278-284, 2019.

Hagens ERC, van Berge Henegouwen MI, van Sandick JW, Cuesta MA, van der Peet DL, Heisterkamp J, Nieuwenhuijzen GAP, Rosman C, Scheepers JJG, Sosef MN, van Hillegersberg R, Lagarde SM, Nilsson M, Räsänen J, Naftoux P, Pattyn P, Hölscher AH, Schröder W, Schneider PM, Mariette C, Castoro C, Bonavina L, Rosati R, de Manzoni G, Mattioli S, Garcia JR, Pera M, Griffin M, Wilkerson P, Chaudry MA, Sgromo B, Tucker O, Cheong E, Moorthy K, Walsh TN, Reynolds J, Tachimori Y, Inoue H, Matsubara H, Kosugi SI, Chen H, Law SYK, Pramesh CS, Puntambekar SP, Murthy S, Linden P, Hofstetter WL, Kuppusamy MK, Shen KR, Darling GE, Sabino FD, Griminger PP, Meijer SL, Bergman JJGHM, Hulshof MCCM, van Laarhoven HWM, Mearadji B, Bennink RJ, Annema JT, Dijkgraaf MGW, GisbertzSS.

Distribution of lymph node metastases in esophageal carcinoma [TIGER study]: study protocol of a multinational observational study.
BMC Cancer 19(1): 662, 2019.

Otani T, Ichikawa H, Hanyu T, Ishikawa T, Kano Y, Kanda T, Kosugi SI, Wakai T.

Long-Term Trends in Respiratory Function After Esophagectomy for Esophageal Cancer.
J Surg Res 245(1): 168-178 2020.

論文(症例報告)

角南栄二、小杉伸一、平野謙一郎、松澤岳晃、佐藤洋、高橋元子、長谷川剛。

長期無再発生存中の乳腺原発印環細胞癌の1例。
乳癌の臨床 34(5): 447-453, 2019.

学会・研究会・講演会

根本万理子、市川寛、小杉伸一、石川卓、羽入隆晃、臼井賢司、酒井剛、廣瀬雄己、堅田朋大、三浦宏平、田島陽介、滝沢一泰、中野雅人、島田能史、永橋昌幸、坂田純、小林隆、亀山仁史、若井俊文。

食道癌術後の内頸静脈血栓症発症の危険因子に関する検討。

第119回日本外科学会定期学術集会(口演)

(大阪, 2019年4月19日)

角南栄二、小杉伸一、平野謙一郎、佐藤洋、高橋元子。

当科にて経験した腋窩副乳癌の1例。

第27回日本乳癌学会学術集会（ポスター）

（東京，2019年7月11日）

佐藤洋、目崎恵。

0からの出発！新規開院病院における他職種連携SSIサーベイランスシステム構築の挑戦。

第74回日本消化器外科学会総会（ポスター）

（東京，2019年7月17日）

日紫喜万理子、市川寛、小杉伸一、羽入隆晃、永橋昌幸、島田能史、坂田純、小林隆、亀山仁史、若井俊文。

食道癌患者における胸骨後経路胃管再建と左内頸静脈血栓症についての検討。

第74回日本消化器外科学会総会（ポスター）

（東京，2019年7月18日）

市川寛、中川悟、番場竹生、小杉伸一、島田能史、永橋昌幸、坂田純、小林隆、亀山仁史、若井俊文。

食道癌手術における食道胃管三角吻合の成績。

第74回日本消化器外科学会総会（ポスター）

（東京，2019年7月18日）

小杉伸一、佐藤洋、平野謙一郎、角南栄二、高橋元子。

Diagnostic Procedure Combination 分類による癒着性腸閉塞治療の評価。

第74回日本消化器外科学会総会（ポスター）

（東京，2019年7月18日）

角南栄二、小杉伸一、平野謙一郎、佐藤洋、高橋元子。

局所進行・転移性乳癌に対し、Bevacizumab+Paclitaxel 療法が奏功した3例。

第57回日本癌治療学会総会（ポスター）

（福岡，2019年10月26日）

大岩智、市川寛、加納陽介、羽入隆晃、石川卓、酒井剛、永橋昌幸、島田能史、坂田純、小林隆、亀山仁史、若井俊文。

内腔突出型頸部食道平滑筋腫の一切除例。

第81回日本臨床外科学会総会（口演）

（高知，2019年11月14日）

大岩智、角南栄二、小杉伸一、平野謙一郎、佐藤洋、高橋元子。

アレルギー性血管浮腫に起因すると考えられた腸重積の1例。

第284回新潟外科集談会（日本臨床外科学会新潟支部会）（口演）

（新潟，2019年11月30日）

佐藤洋、平野謙一郎。

LECSによる十二指腸GISTの切除経験。

第32回日本内視鏡外科学会（口演）

（横浜，2019年12月7日）

研究費(科学研究費)

小杉伸一：代表 基盤研究費 (C) 17K00813 2017-2019 年度

消化器外科手術後の包括的嚥下機能評価に関する研究

小杉伸一：分担 基盤研究費 (C) 17K10579 2017-2019 年度

胃癌におけるアクチビン受容体変異による新規シグナル伝達機構の解明及び臨床的意義

小杉伸一：分担 基盤研究費 (C) 17K10580 2017-2019 年度

胃癌における BRCA1/2 遺伝子変異解析及びタンパク質発現とその臨床的意義

小杉伸一：分担 基盤研究費 (C) 18K08698 2018-2020 年度

胃癌 DNA 二重鎖損傷修復機構破綻の包括的評価と臨床的意義の解明

小杉伸一：分担 基盤研究費 (C) 19K09117 2019-2021 年度

HER2 陽性胃癌における遺伝子異常の包括的評価と臨床的意義の解明

小杉伸一：分担 基盤研究費 (C) 19K09165 2019-2021 年度

胃癌マイクロサテライト不安定性評価の検証と薬物治療における臨床的意義の解明

小杉伸一：分担 基盤研究費 (C) 19K09212 2019-2021 年度

NOTCH シグナルを介した食道癌化学療法奏効性の分子機構の解明

論文(原著)

Miura K, Morita O, Hirano T, Watanabe K, Fujisawa J, Kondo N, Netsu T, Hanyu T, Shobugawa Y, Endo N.
Prevalence of and factors associated with dysfunctional low back pain in patients with rheumatoid arthritis.
Eur Spine J 28(5): 976-982, 2019.

Yamagishi T, Kawashima H, Ogose A, Ariizumi T, Oike N, Sasaki T, Hatano H, Ohashi R, Umezu H, Ajioka Y, Endo N.
Expression profiling of receptor-activator of nuclear factor kappa B Ligand in soft tissue tumors.
Tohoku J Exp Med 248(2): 87-97, 2019.

植木将人、松崎浩徳.

Adipofascial turn-over flap により指背側軟部組織欠損を再建した 2 例.
東北整形災害外科学会雑誌 62(1): 79-82, 2019.

Ariizumi T, Kawashima H, Hatano H, Yamagishi T, Oike N, Sasaki T, Umezu H, Xu Y, Endo N, Ogose A,
Osteoinduction and Osteoconduction with Porous Beta-Tricalcium Phosphate Implanted after Fibular Resection
in Humans.
Journal of Biomaterials and Nanobiotechnology 10: 159-173, 2019.

Ohashi M, Watanabe K, Hirano T, Hasegawa K, Katsumi K, Shoji H, Mizouchi T, Endo N.
Flexibility of the thoracic curve and three-dimensional thoracic kyphosis can predict pulmonary function in
nonoperatively treated adult patients with adolescent idiopathic scoliosis.
J Orthop Sci doi: 10.1016/j.jos.2019.06.015 , 2019.

Oike N, Kawashima H, Ogose A, Hatano H, Ariizumi T, Kaidu M, Aoyama H, Endo N.
Long-term outcomes of an extracorporeal irradiated autograft for limb salvage operations in musculoskeletal
tumours: over ten years' observation.
Bone Joint J 101-B(9): 1151-1159, 2019.

庄司寛和、平野徹、渡辺慶、大橋正幸、溝内龍樹、田仕英希、遠藤直人.
脊椎手術症例における術前深部静脈血栓症の危険因子.
J Spine Res 10(9): 1334-1338, 2019.

Ohashi M, Watanabe K, Hirano T, Hasegawa K, Katsumi K, Shoji H, Mizouchi T, Endo N.
Long-term Impacts of Brace Treatment for Adolescent Idiopathic Scoliosis on Body Composition, Paraspinal
Muscle Morphology, and Bone Mineral Density.
Spine 44(18): E1075-1082, 2019.

若杉正嗣、勝見敬一、生越章、高野裕一。

脊椎固定術後の隣接椎間障害に対する LLIF と PPS 併用の有用性。

整形・災害外科 62(10): 1285-1290, 2019.

Ueki M, Moriya K, Yoshizu T, Tsubokawa N, Kouda H, Endo N.

Closed-wedge osteotomy of the distal humerus for treating osteochondritis dissecans of the capitellum in young patients.

Orthop J Sports Med 7(10): doi: 10.1177/2325967119876247. , 2019.

Katsumi K, Hirano T, Watanabe K, Ohashi M, Mizouchi T, Wakasugi M, Makino T, Yamazaki A, Endo N.

A novel concept of posterior decompression and instrumented fusion with selective lordotic correction for cervical ossification of the posterior longitudinal ligament.

J Clin Neurosci 68: 312-316, 2019.

Nishida N, Kawai A, Toguchida J, Ogose A, Ae K, Kunisada T, Matsumoto Y, Matsunobu T, Takahashi K, Nishida K, Ozaki T.

Clinical features and treatment outcome of desmoid-type fibromatosis: based on a bone and soft tissue tumor registry in Japan.

Int J Clin Oncol 24: 1498-1505, 2019.

Watanabe K, Katsumi K, Ohashi M, Shibuya Y, Hirano T, Endo N, Kaito T, Yamashita T, Fujiwara H, Nagamoto Y, Matsuoka Y, Suzuki H, Nishimura H, Terai H, Tamai K, Tagami A, Yamada S, Adachi S, Yoshii T, Ushio S, Harimaya K, Kawaguchi K, Yokoyama N, Oishi H, Doi T, Kimura A, Inoue H, Inoue G, Miyagi M, Saito W, Nakano A, Sakai D, Nukaga T, Ikegami S, Shimizu M, Futatsugi T, Ohtori S, Furuya T, Orita S, Imagama S, Ando K, Kobayashi K, Kiyasu K, Murakami H, Yoshioka K, Seki S, Hongo M, Kakutani K, Yurube T, Aoki Y, Oshima M, Takahata M, Iwata A, Endo H, Abe T, Tsukanishi T, Nakanishi K, Watanabe K, Hikata T, Suzuki S, Isogai N, Okada E, Funao H, Ueda S, Shiono Y, Nojiri K, Hosogane N, Ishii K.

Surgical outcomes of spinal fusion for osteoporotic vertebral fracture in the thoracolumbar spine: Comprehensive evaluations of 5 typical surgical fusion techniques.

J Orthop Sci 24(6): 1020-1026, 2019.

Mizouchi T, Katsumi K, Izumi T, Yamazaki A, Shoji H, Tashi H, Ohashi M, Hirano T, Endo N, Watanabe K.

Three-dimensional morphological analysis of cervical foraminal stenosis using dynamic flexion-extension computed tomography images.

J Orthop Sci 24: doi: 10.1016/j.jos.2019.11.002. , 2019.

平野貴文、渡辺慶、平野徹、庄司寛和、溝内龍樹、佐藤雅之、村上玲子、木村慎二、遠藤直人。

成人脊柱変形に対する変形矯正手術後の運動機能評価の解析。

新潟整形外科雑誌 35(2): 97-100, 2019.

花房繁寿、平野徹、渡邊慶、庄司寛和、溝内龍樹、遠藤直人.

Propionibacterium 属による脊椎インストゥルメンテーション手術後手術部位感染.

新潟整外科雑誌 35(2): 93-96, 2019.

Inose H, Kato T, Ichimura S, Nakamura H, Hoshino M, Togawa D, Hirano T, Tokuhashi Y, Ohba T, Haro H, Tsuji T, Sato K, Sasao Y, Takahata M, Otani K, Momoshima S, Yuasa M, Hirai T, Yoshii T, Okawa A.

Risk Factors of Nonunion After Acute Osteoporotic Vertebral Fractures: A Prospective Multicenter Cohort Study.

Spine doi: 10.1097/BRS.0000000000003413. , 2020.

目良恒、望月友晴、谷藤理、藤田裕、遠藤直人.

膝関節初期構造変化の診断における変形性膝関節症患者機能尺度 (JKOM) の有用性の検討.

JOSKAS 誌 45(1): 240-241, 2020.

若杉正嗣、勝見敬一、白旗正幸、目良恒、植木将人、生越章.

仙骨の解剖学的検討.

整形・災害外科 63(3): 341-345, 2020.

論文(総説)

渡辺慶、渋谷洋平、勝見敬一、平野徹、遠藤直人.

【脊椎脊髄外科の最近の進歩】各種疾患に対する治療法・モダリティ 胸腰椎移行部の骨粗鬆症性椎体骨折に対する脊椎固定術の治療成績.

整形・災害外科 62(5): 607-612, 2019.

平野徹.

【子どもの運動器障害-学校検診から日常診療まで】主な運動器疾患と障害の治療 脊柱変形 側彎症.

臨床雑誌整形外科 70(6): 576-583, 2019.

渡辺慶、佐藤剛、佐野敦樹、平野徹、伊藤拓緯、遠藤直人.

【子どもの運動器障害-学校検診から日常診療まで】

徴候・症状別の診察から診断まで 小児における腰痛の実状 病態と診察の仕方.

臨床雑誌整形外科 70(6): 533-538, 2019.

浦川貴朗、松澤等、溝内龍樹、渡辺慶、平野徹、後藤真一、五十嵐博中、遠藤直人.

脊椎疾患のニューロイメージングの近未来 拡散強調画像を用いた頸髄神経路評価 三次元不等方性コントラスト磁気共鳴軸索強調画像.

日整会誌 93(7): 450-455, 2019.

平野徹.

小児脊柱変形の診断と治療 現状と今後の展望.

新潟県医師会報 832: 2-7, 2019.

論文(症例報告)

白旗正幸、添野竜也、谷藤理.

距骨頸部脱臼骨折の2例.

日本足の外科学会雑誌 40(1): 244-247, 2019.

著書など

目良恒.

偽痛風 体調変化が発作の一因.

みんなの診察室, 新潟日報新聞, 2019.

生越章.

人工骨移植の骨組織片か.

骨形態計測からヒトの骨組織を見る、知る、学ぶ, 140-147 頁, ウィネット出版, 2019.

平野徹.

不動化と力学的負荷はヒトの骨組織をどう変えるか?

骨形態計測からヒトの骨組織を見る、知る、学ぶ, 131-139 頁, ウィネット出版, 2019.

目良恒ほか

第3章 関節軟骨損傷および修復の評価方法.

関節・軟骨の再生医療, 25-40 頁, シーエムシー出版, 2019.

学会・研究会・講演会

Ogose A.

Parallel ligation method for resection of hyper vascular tumors (hemangioma, AVM, diffuse neurofibroma)

The royal college of orthopaedic surgeons of Thailand (口演) (Pattaya (タイ), 2019年10月20-22日)

Ogose A.

Reconstruction of bone defect using intraoperative irradiated bone in tumor surgery.

The royal college of orthopaedic surgeons of Thailand (口演) (Pattaya (タイ), 2019年10月20-22日)

Ogose A.

Clinical use of tricalcium phosphate as bone substitutes in orthopedic surgery.

The royal college of orthopaedic surgeons of Thailand (口演) (Pattaya (タイ), 2019年10月20-22日)

Tomiyama Y, Mera H, Oike N, Nonaka H, Ueno Y, Ohashi R, Tsuchiya A, Tanifuji O, Mochizuki T, Endo N, Terai S.

Localization of the human Adipose tissue-derived mesenchymal stem cells injected intra-articularly for rat cartilage defect repair.

ORS 2020 annual meeting (poster) (Phoenix, Arizona (米国), 2020年2月8-11日)

白旗正幸、植木将人、依田拓也.

犬猫による上肢咬傷に対する診療状況.

第62回日本手外科学会学術集会 (ポスター) (札幌, 2019年4月18-19日)

平野徹、渡邊慶、庄司寛和、溝内龍樹、田仕英希、遠藤直人.

小児でも腰背部痛は QOL や心理社会的要因と関連する.

第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (口演) (横浜, 2019年4月18-20日)

勝見敬一、若杉正嗣、牧野達夫、平野徹、渡邊慶、大橋正幸、庄司寛和、溝内龍樹、遠藤直人.

側方進入腰椎椎体間固定術におけるケージ内充填剤の進歩 コラーゲン使用人工骨の有効性と混合率の検討.

第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (口演) (横浜, 2019年4月18-20日)

勝見敬一、若杉正嗣、平野徹、渡邊慶、大橋正幸、山崎昭義、和泉智博、牧野達夫、澤上公彦、傳田博司、高橋一雄、遠藤直人.

K-line(-)型頸椎後縦靭帯骨化症に対する新しいコンセプトの後方除圧固定術.

第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (ポスター) (横浜, 2019年4月18-20日)

若杉正嗣、勝見敬一、生越章、山崎昭義、和泉智博、澁谷洋平、金城純人.

脊髓円錐および硬膜嚢末端についての検討.

第48回日本脊椎脊髄病学会学術集会 (ポスター) (横浜, 2019年4月18-20日)

若杉正嗣、勝見敬一、白旗正幸、目良恒、植木将人、藤田裕、久保田解、生越章.

3-DCTによる腸骨稜高位と形状の検討.

第92回日本整形外科学会学術総会 (ポスター) (横浜, 2019年5月9-12日)

平野徹、渡邊慶、大橋正幸、庄司寛和、溝内龍樹、遠藤直人.

小児でも腰痛は QOL や心理社会的要因と関連するか.

第92回日本整形外科学会学術総会 (ポスター) (横浜, 2019年5月9-12日)

白旗正幸、若杉正嗣、植木将人、目良恒、生越章、坂爪佑輔、牧野達夫、勝見敬一。

整形外科・皮膚科開業医の少ない地域の総合病院における動物咬傷に対する診療状況。

第 92 回日本整形外科学会学術総会（口演）

（横浜， 2019 年 5 月 12 日）

目良恒、望月友晴、谷藤理、藤田裕、遠藤直人。

変形性膝関節症患者機能尺度（JKOM）は膝関節初期変化の診断に有用である。

JOSKAS 2019（e-poster）

（札幌， 2019 年 6 月 13-15 日）

藤田裕、目良恒。

人工膝関節全置換術時における下肢伝達麻酔の検討 ～大腿神経ブロックと内転筋管ブロックの比較～

JOSKAS 2019（e-poster）

（札幌， 2019 年 6 月 13-15 日）

若杉正嗣、勝見敬一、白旗正幸、目良恒、植木将人、藤田裕、久保田解、生越章。

頰椎の形態学的検討 ―棘突起先端形状と横突起―

第 116 回東北整形災害外科学会（口演）

（盛岡， 2019 年 6 月 21-22 日）

白旗正幸、久保田解、藤田裕、若杉正嗣、植木将人、目良恒、生越章、勝見敬一。

動物咬傷による下肢化膿性腱鞘滑膜炎に対する手術治療経験。

第 116 回東北整形災害外科学会（口演）

（盛岡， 2019 年 6 月 21 日）

生越章、川島寛之、有泉高志、山岸哲郎、大池直樹、遠藤直人。

脂肪腫と異型脂肪腫様腫瘍の自然史の解析。

第 52 回日本整形外科学会骨軟部腫瘍学術集会（口演）

（川越， 2019 年 7 月 11-12 日）

若杉正嗣、勝見敬一、平野徹、白旗正幸、目良恒、植木将人、藤田裕、久保田解、生越章。

CPK に注目した脊椎手術侵襲についての検討。

第 68 回東日本整形災害外科学会（口演）

（東京， 2019 年 9 月 5-6 日）

若杉正嗣、平野徹、白旗正幸、目良恒、植木将人、藤田裕、久保田解、生越章。

ヘルニアが再発し硬膜内ヘルニアを生じた 1 例。

第 237 回新潟整形外科研究会（口演）

（新潟， 2019 年 9 月 21 日）

若杉正嗣、平野徹、白旗正幸、目良恒、植木将人、藤田裕、久保田解、生越章。

全脊柱 CT による椎骨数の検討 ―仙椎数・仙骨孔・仙骨裂孔に注目して（仙骨裂孔は開存しているとはかぎらない）―

第 237 回新潟整形外科研究会（口演）

（新潟， 2019 年 9 月 21 日）

白旗正幸、若杉正嗣、谷藤理。

足部動物咬傷に対する診療状況。

第 44 回日本足の外科学会学術集会（ポスター）

（札幌， 2019 年 9 月 26-27 日）

平野徹.

難治性脊椎・脊髄疾患の治療を通して学んだこと。(教育研修講演)

新潟脊椎外科研究会 (口演)

(新潟, 2019年10月5日)

平野徹、渡辺慶、大橋正幸.

視診による検診の意義と問題点.

第53回日本側弯症学会学術集会 (口演)

(高崎, 2019年11月8-9日)

若杉正嗣、平野徹、白旗正幸、目良恒、植木将人、藤田裕、竹内峻、生越章.

accessory transverse foramina 内を椎骨動脈は分岐走行するか?

第238回新潟整形外科研究会 (口演)

(新潟, 2019年11月30日)

中町昂史、金子知恵、丸山暢之、若杉正嗣、生越章、平野徹.

当院の脊椎手術における平均透視時間.

第238回新潟整形外科研究会 (口演)

(新潟, 2019年12月7日)

植木将人、生越章ほか.

外傷による第5中手骨骨頭骨欠損に対して肋骨録軟骨移植を用いて再建した1例.

第239回新潟整形外科研究会 (口演)

(新潟, 2020年1月18日)

生越章、川島寛之、有泉高志、村山雄大、大池直樹、梶野宏史、山岸哲郎.

四半世紀以上を経過したKotz型人工関節を使用した肉腫の5例.

第3回日本サルコーマ治療研究会学術集会 (ポスター)

(大阪, 2019年2月21-22日) 補遺

研究費(科学研究費)

生越章: 代表 基盤研究費 (C) 18K09098 2018-2020年度

骨軟部腫瘍に対する免疫治療の開発

目良恒: 代表 基盤研究費 (C) 18K09021 2018-2020年度

関節軟骨修復に寄与するマイクロRNAの探索

目良恒: 分担 基盤研究費 (C) 19K05954 2019-2021年度

リガンド非依存的GPCR活性化による破骨細胞の分化・機能制御の機構解明

論文(原著)

Sato K, Awaji M, Inagawa S, Yoneoka Y, Yoshimura J, Yoshimura N, Aoyama H.

Detectability of the choroid plexus of the third ventricle with magnetic resonance ventriculography.

Japanese journal of radiology 37(4): 449-457, 2019.

学会・研究会・講演会

米岡有一郎、岡田正康、中村公彦、平石哲也、佐野正和、大石誠、関泰弘、秋山克彦、藤井幸彦.

経鼻内視鏡下頭蓋咽頭腫摘出における下垂体機能温存の可能性.

第 92 回日本内分泌学会学術総会 (口演)

(仙台, 2019 年 5 月 9-11 日)

米岡有一郎.

内視鏡下経鼻手術の展開.

最終回 阿賀北脳神経外科懇話会 (口演)

(新潟, 2019 年 6 月 7 日)

米岡有一郎、秋山克彦、関泰弘.

小児くも膜嚢胞に合併した外傷機転を特定できない急性硬膜下血腫.

第 47 回日本小児神経外科学会 (口演)

(新潟, 2019 年 6 月 14-15 日)

米岡有一郎、関泰弘、秋山克彦、高尾哲郎、河辺啓太、神保康志、川口正.

意識障害で発症した下垂体卒中.

第 109 回新潟内分泌代謝同好会 (口演)

(新潟, 2019 年 6 月 15 日)

米岡有一郎、秋山克彦、関泰弘.

魚沼夫婦春秋.

第 76 回新潟脳卒中研究会 (口演)

(新潟, 2019 年 6 月 29 日)

米岡有一郎、秋山克彦、関泰弘.

下垂体卒中に対する外科治療.

第 20 回日本内分泌学会関東甲信越支部学術集会 (口演)

(東京, 2019 年 9 月 13-14 日)

米岡有一郎、岡田正康、中村公彦、平石哲也、佐野正和、大石誠、関泰弘、秋山克彦、藤井幸彦.

内視鏡下経鼻経蝶形骨洞下垂体腺腫摘出術における効果的な綿片使用法.

第 24 回日本脳腫瘍の外科学会 (口演)

(浜松, 2019 年 9 月 13-14 日)

米岡有一郎、秋山克彦、関泰弘、

下垂体卒中に対する外科治療。

日本脳神経外科学会 第78回学術総会（口演）

（大阪，2019年10月9-12日）

米岡有一郎、岡田正康、中村公彦、平石哲也、佐野正和、大石誠、関泰弘、秋山克彦、藤井幸彦。

内視鏡下経鼻経蝶形骨洞手術における止血，視野確保，髄液漏阻止に対する準備と工夫。

第26回日本神経内視鏡学会総会（口演）

（横浜，2019年11月7-8日）

米岡有一郎、秋山克彦、関泰弘、

意識障害で発症した下垂体卒中。

第29回内分泌代謝 Update（口演）

（高知，2019年11月29-30日）

米岡有一郎、秋山克彦、関泰弘、

搬入時 Hunt and Kosnik Grade V, WFNS Grade V, JCS=300, 両瞳孔散大で対光反射のないくも膜下出血への対応，49歳例。

第73回新潟脳神経外科懇話会（口演）

（新潟，2019年12月13日）

米岡有一郎、関泰弘、秋山克彦、日向裕大、小原伸雅。

頭蓋咽頭腫の周術期内分泌機能。

第110回内分泌代謝同好会（口演）

（新潟，2019年12月13日）

米岡有一郎、藤井幸彦。

経鼻内視鏡下頭蓋咽頭腫摘出術における下垂体・下垂体柄温存。

第29回日本間脳下垂体腫瘍学会（口演）

（大阪，2020年2月22-23日）

米岡有一郎、岡田正康、中村公彦、平石哲也、佐野正和、大石誠、関泰弘、秋山克彦、藤井幸彦。

経鼻内視鏡下頭蓋咽頭腫摘出における下垂体機能温存の可能性。

第56回日本脳神経外科学会 東北支部会（口演）

（新潟，2020年3月16日）

皮膚科

論文(総説)

藤原浩.

ポリウレタンフィルム.

月刊ナーシング 39(8): 79-81, 2019.

藤原浩.

褥瘡/MDRPU (医療関連機器圧迫創傷)

在宅新療 4(11): 1059-1064, 2019.

著書など

藤原浩.

レイノー現象 痛むなら血管拡張薬を.

みんなの診察室, 新潟日報新聞, 2019.

学会・研究会・講演会

Kawai T, Fujiwara H, Tomii K, Satou Y, Abe R.

A case of linea alba hernia with stomach, omentum, and superior mesenteric artery herniation.

World Cogress of Dermatology (ポスター)

(Milano (イタリア), 2019年6月10日)

磯貝善蔵、入澤亮吉、大塚正樹、門野岳史、古賀文二、廣崎邦紀、藤原浩.

褥瘡ガイドライン 2018 の概要.

第 118 回日本皮膚科学会総会 (講演)

(名古屋, 2019年6月6日)

石渡綾乃、宮島莉乃、加勢夕季乃、藤原浩、長谷川剛.

近接して多発した pilomatricoma は monoclonal か?

第 394 回日本皮膚科学会新潟地方会 (講演)

(新潟, 2019年6月29日)

藤原浩.

褥瘡治療コンセプトの解釈と深化.

第 16 回日本褥瘡学会関東甲信越地方会学術大会 (講演)

(新潟, 2019年7月13日)

宮島莉乃、石渡綾乃、藤原浩、長谷川剛、加嶋克則.

後天性疣贅状表皮発育異常症の 1 例.

第 395 回日本皮膚科学会新潟地方会 (講演)

(新潟, 2019年9月14日)

石渡綾乃、河合亨、藤原浩、和田雅樹、長谷川剛。

多発性副耳を伴った腮弓症候群の1例、Sox9-PGC-1 α 発現についての検討。

第70回日本皮膚科学会中部支部学術大会（ポスター）

（金沢，2019年10月5日）

宮島莉乃、石渡彩乃、藤原浩、長谷川剛。

アポクリン汗腺腫瘍はなぜ黒いのか。

第396回日本皮膚科学会新潟地方会（講演）

（新潟，2019年12月7日）

論文(原著)

Shirono Y, Takizawa I, Kasahara T, Maruyama R, Yamana K, Tanikawa T, Hara N, Sakaue Y, Togano T, Nishiyama T, Fukuchi T, Tomita Y.

Intraoperative Intraocular Pressure Changes During Robot-Assisted Radical Prostatectomy: Associations With Perioperative and Clinicopathological Factors.

BMC Urol. 20(1): 26, 2020.

論文(症例報告)

Murata M, Nagano O, Hasegawa G, Ikeda Y, Nakagawa Y, Seki Y, Nishiyama T, Tomita Y.

Unicentric Castleman's Disease Located Between the Aorta and Inferior Vena Cava: A Case Report.

SAGE Open Med Case Rep. 7: doi: 10.1177/2050313X19839532, 2019.

Murata M, Ikeda Y, Hasegawa G, Nakagawa Y, Nishiyama T.

Low-dose Axitinib Rechallenge With Positive Outcomes in a Patient With Metastatic Renal Cell Carcinoma Refractory to Interferon α , Sunitinib, Axitinib, and Nivolumab Therapies: A Case Report.

J Med Case Rep. 13(1): 98, 2019.

Murata M, Inui K, Hasegawa M, Ikeda Y, Nakagawa Y, Hara N, Nishiyama T.

Simultaneous Laparoscopic Surgery for Bladder Diverticulum and Urachal Remnant: A Case Report.

Case Rep Urol. 2019: doi: 10.1155/2019/5785189, 2019.

Murata M, Inui K, Hasegawa G, Ikeda Y, Nakagawa Y, Nishiyama T, Tomita Y.

Perineal nuchal-type fibroma originated from perirectal region: A case report.

Hum Pathol Case Rep 17(1): 200318, 2019.

論文(原著)

Kojiro Ishioka, Hitoshi Okumura, Takanobu Sasaki, Masanao Ikeda, Nao Takahashi, Hironori Baba, Naotaka Aizawa, Arata Horii.

Effects of Unilateral Sinonasal Surgery on Sleep-Disordered Breathing.

Acta Otolaryngol 139: 777-782, 2019.

Manabu Ogi, Tatsuya Yamagishi, Hiroaki Tsukano, Nana Nishio, Ryuichi Hishida, Kuniyuki Takahashi, Arata Horii, Katsuei Shibuki.

Associative Responses to Visual Shape Stimuli in the Mouse Auditory Cortex.

PLoS One 3(14): e0223242, 2019.

学会・研究会・講演会

Yoriko Nonomura.

Comprehensive analysis of N-glycan in the epithelial-like tissue of the mammalian cochlea.

2020 ARO MidWinter Meeting (ポスター)

(San Jose (米国), 2020年1月25-29日)

野々村頼子.

特発性髄液漏、フルオレセインの局所塗布が漏出部の同定に有効であった一例.

第29回日本耳科学会総会 (口演)

(山形, 2019年10月10-12日)

野々村頼子.

内リンパ液の恒常性維持に関与する上皮イオン輸送分子の解析.

第64回日本聴覚医学会総会 (口演)

(大阪, 2019年11月6-8日)

相澤直孝

シンポジウム1「連携」 医科病院での現状.

第18回日本睡眠歯科学会総会 (シンポジウム)

(新潟, 2019年11月23-24日)

野々村頼子、小木学、相澤直孝.

航空機搭乗中に発症した右顔面神経麻痺の一例.

第89回日耳鼻新潟県地方部会学術講演会 (口演)

(新潟, 2019年12月14日)

研究費(科学研究費)

野々村頼子：代表 若手研究 18K16877 2018-2020 年度

内耳蝸牛における N-結合型糖鎖の網羅的解析と内リンパ液環境の制御メカニズムの解明

論文(症例報告)

長谷川順紀、霜鳥真、甲田有嘉子、佐藤ひとみ、加嶋克則、鈴木美奈、本多啓輔、風間芳樹。

妊娠中に発症した卵管捻転の1例。

新潟産科婦人科学会 会誌 114(2): 54-57, 2020.

本多啓輔、霜鳥真、廣川真由子、甲田有嘉子、佐藤ひとみ、鈴木美奈、加嶋克則、風間芳樹。

子宮筋腫核出とともに仙骨子宮靭帯縫縮を行った一例 —若年者子宮下垂への対応—。

新潟産科婦人科学会 会誌 114(2): 58-62, 2020.

著書など

風間芳樹。

トキソプラズマ感染症

つなぐ命 産婦人科・小児科医師からのメッセージ, 新潟日報新聞, 2019.

学会・研究会・講演会

長谷川順紀。

卵管放線菌症の一例。

第116回魚沼産婦人科医会(口演)

(南魚沼市, 2019年6月7日)

霜鳥真。

心拡大で発見された胎児卵円孔狭窄の一例。

第116回魚沼産婦人科医会(口演)

(南魚沼市, 2019年6月7日)

霜鳥真、長谷川順紀、甲田有嘉子、佐藤ひとみ、加嶋克則、鈴木美奈、本多啓輔、風間芳樹。

心拡大で発見された胎児卵円孔狭窄の一例。

第182回新潟産科婦人科集談会(口演)

(新潟, 2019年6月16日)

霜鳥真、長谷川順紀、甲田有嘉子、佐藤ひとみ、加嶋克則、鈴木美奈、本多啓輔、風間芳樹。

心拡大で発見された胎児卵円孔狭窄の一例。

第67回北日本産科婦人科学会総会学術講演会(口演)

(福井, 2019年9月29日)

廣川真由子。

帝王切開時に巨大筋腫核出術を施行した一例。

第117回魚沼産婦人科医会(口演)

(南魚沼市, 2019年11月22日)

論文(総説)

青山英史、川口弦.

神経鞘種・髄膜腫の定位放射線治療.

脳神経外科ジャーナル 28(8): 499-504, 2019.

学会・研究会・講演会

Kawaguchi G, Tanabe S, Utsunomiya S, Sasage T, Kuwabara R, Kuribayashi T, Takatou H, Aoyama H.

Safe Distance Limit between the Target and Intestinal Tract in Real-Time Tracking Radiotherapy for Liver Tumors.

ASTRO 61th Annual Meeting (ポスター)

(Chicago (米国), 2019年9月15-18日)

川口弦、栗林俊輝、桑原亮太、高頭浩正、棚邊哲史、宇都宮悟、青山英史.

肝臓腫瘍に対する動体追跡放射線治療における近接腸管との限界距離の検討.

第28回日本定位放射線治療学会(口演)

(新潟, 2019年6月14日)

川口弦、栗林俊輝、桑原亮太、高頭浩正、棚邊哲史、宇都宮悟、青山英史.

SyncTraX FX4によるVISICOILを用いた動体追跡放射線治療の工夫.

日本放射線腫瘍学会第32回学術大会(口演)

(名古屋, 2019年11月21-23日)

研究費(科学研究費)

川口弦: 代表 若手研究 18K15626 2018-2021年度

革新的動体追跡放射線治療に向けたクリップマーカーの開発および臨床応用

論文(症例報告)

渡部達範、花房友海、内藤夏子、清水大喜、馬場洋.

9年間肘痛のみの症状が持続した尺骨神経炎の1例.

日本ペインクリニック学会誌 27(1): 87-90, 2020.

著書など

古谷健太.

用手的気道確保とマスク換気.

LiSA 2019年4月号, 340-346頁, MEDSi社, 2019.

渡部達範.

愛煙家で、COPDであり呼吸機能が低下している患者.

オペナーシング 2019年8月号, 783-790頁, メディカ出版, 2019.

清野豊、今井英一.

29 モニタリング

LiSA 2019年別冊秋号, 173-180頁, MEDSi社, 2019.

著書など

山口征吾.

臓器提供推進活動 ーわが国ではどうして臓器提供が少ないのか.

腎と透析 腎移植の現況と残された課題, 113-119 頁, 東京医学社, 2019.

山口征吾.

ER デザイン魚沼基幹病院.

救急医学 臨時増刊号 ER デザイン, 1446-1449 頁, へるす出版, 2019.

学会・研究会・講演会

山口征吾.

それでいいの？救急外来.

TMM 講習会 (講演)

(魚沼市, 2019年9月28日)

論文(原著)

長谷部大地、加藤祐介.

日本人における Index of Orthognathic Functional Treatment Need(IOFTN)の有用性についての検討(第1報).
日顎変形誌 29(1): 5-10, 2019.

山崎裕太、加藤祐介.

新潟大学医歯学総合病院における顎関節症患者の臨床的検討 -顎関節症の病態分類(2013年)と SCL-90-R を用いた
2軸診断-.
新潟歯学誌 49(1): 5-12, 2019.

長谷部大地、加藤祐介.

日本人における Index of Orthognathic Functional Treatment Need(IOFTN)の有用性についての検討
-第2報: 外科的矯正治療と矯正歯科治療のボーダーライン-.
日顎変形誌 29(4): 289-294, 2019.

学会・研究会・講演会

齋藤大輔、佐久間英伸、加藤祐介、長谷部大地、新美奏恵、片桐渉、小林正治.

顎変形症手術における術後感染予防抗菌薬適正使用の検証.

第29回日本顎変形症学会総会・学術大会 (ポスター)

(東京, 2019年6月8-9日)

佐久間英伸、長谷部大地、新美奏恵、加藤祐介、齋藤大輔、齋藤直朗、荻野奈保子、片桐渉、齋藤功、小林正治.

顎変形症患者における形態的不調和と咀嚼機能との関連の解明.

第29回日本顎変形症学会総会・学術大会 (ポスター)

(東京, 2019年6月8-9日)

長谷部大地、高橋功次朗、須田大亮、齋藤大輔、佐久間英伸、加藤祐介、丹原惇、新美奏恵、片桐渉、齋藤功、小林正治.

Index of Orthognathic Functional Treatment Need を用いた外科的矯正治療の適応における Borderline の検証.

第29回日本顎変形症学会総会・学術大会 (ポスター)

(東京, 2019年6月8-9日)

加納浩之.

最近見聞きした気になる話題や、今さら聞けない素朴な疑問を掘り下げる.

魚沼地区歯科医学会 (講演)

(南魚沼市, 2019年10月5日)

加納浩之、加藤祐介、須田大亮、船山昭典、丸山智、小林正治.

智歯抜歯後に残留した嚢胞から発生した顎骨中心性粘表皮癌の1例.

第64回日本口腔外科学会総会 (口演)

(札幌市, 2019年10月25-27日)

加藤祐介、齋藤直朗、長谷部大地、佐久間英伸、新美奏恵、小林正治.

顎矯正手術における超音波骨切削機器鋸歯状ナイフチップセットの有用性.

関東形成外科学会 第 108 回新潟地方会 (口演)

(新潟, 2019 年 11 月 8 日)

学会・研究会・講演会

田村正明、飯野則昭.

慢性維持透析患者のSMI（骨格筋指数）と関連因子についての検討.

第61回新潟透析医学会学術集会（発表）

（新潟，2019年4月21日）

星静香、田村正明、飯野則昭.

PDに係る看護師の課題の明確化と今後の教育計画・PD外来運用方法の検討.

第61回新潟透析医学会学術集会（発表）

（新潟，2019年4月21日）

井口卓、和田真理、桑原ゆかり、鈴木雄基.

非侵襲的陽圧喚起法を用いた内視鏡下胃瘻増設術の実際.

第54回新潟地区消化器内視鏡技師会研究会（発表）

（新潟，2019年9月28日）

清水睦美.

①術前から術後・退院までのストーマケア ②退院後のストーマケア —ストーマ外来で関わった事例から—

ストーマケアセミナー（ダンサック主催）（講師）

（長岡，2019年11月16日）

青木瞳.

がん放射線療法看護 —認定看護師への道—.

第27回新潟放射線治療研究会（講師）

（新潟，2020年1月25日）

清水睦美.

褥瘡予防の基礎知識.

越南苑 褥瘡研究会（講師）

（南魚沼，2020年2月14日）

学会・研究会・講演会

目崎恵

血圧計マンシエットの清浄化に向けた介入.

第8回日本感染管理ネットワーク学会学術集会（口演）

（徳島，2019年5月24-25日）

星野靖

ナースコールを活用した働き方改革を考える－医療安全管理の視点での運用－.

第20回日本医療情報学会看護学術学会（口演）

（東京，2019年9月27日）

目崎恵

介護施設における「感染予防対策リーダー」の養成

－専門家がいなくても自律して実践できる感染予防対策を目指して－.

第58回全国自治体病院学会学術集会（ポスター）

（徳島，2019年10月24-25日）

星野靖

画像診断報告書の確認不足に対する医療安全対策.

医療安全対策/感染管理懇話会学術集会（口演）

（新潟，2019年12月21日）

目崎恵

外部委託職員と協働して行う環境衛生.

第35回日本環境感染学会総会・学術集会（講演）

（横浜，2020年2月14-15日）

学会・研究会・講演会

中村由佳、上西祥子、今井麻奈。

医療連携室の業務。

東北7県医療連携実務者協議会 第3回医療連携初任者研修会(シンポジウム)

(仙台, 2019年6月22日)

久川奈々、須田剛土、大塚佳子、今成洋彰、和田真貴、林千代子。

入院支援業務の開始と活動報告。

UKB リサーチ 2019 (ポスター)

(南魚沼市, 2019年11月1日)

論文(原著)

貝瀬真由美、須田剛士、堀内亮佑、柴田真由美、小川るり子、粉川直明、寺島健史、内山聖。

B型肝炎ウイルス再活性化対策に関するガイドライン遵守のための取り組み。

医療薬学 46(3): 138-145, 2020.

小森裕、山田宜和、山岸宏和、岩田真子、貝瀬真由美。

画像監査システム・アンブルピッカーを活用した医療安全の取り組み。

新潟県立病院医学会誌 68: 12-17, 2020.

学会・研究会・講演会

種村瞭、岩田真子、高村誠、鈴木さくら、五十嵐詠美、南場信人、今成拓、山岸宏和、貝瀬真由美。

プロトコールに基づく薬学的管理の提案に向けた疑義照会内容の調査。

日本病院薬剤師会 第49回関東ブロック学術大会 (ポスター)

(甲府, 2019年8月24-25日)

山田宜和、矢吹剛、貝瀬真由美。

グラニセトロン注射薬を3mgから1mgに切り替えた症例の制吐効果の影響について。

日本病院薬剤師会 第49回関東ブロック学術大会 (ポスター)

(甲府, 2019年8月24-25日)

小森裕、山田宜和、山岸宏和、岩田真子、貝瀬真由美。

画像監査システム・アンブルピッカーを活用した医療安全の取り組み。

県立病院医学会 (講演)

(新潟, 2019年9月14日)

矢吹剛。

がん化学療法レジメンにおける制吐剤に関する話題。

新潟県病院薬剤師会学術講演会 (講演)

(新潟, 2019年10月25日)

寺口敦、関口陽子、貝瀬真由美、須田剛士。

睥外分泌機能検査 PFD 試験の検査前使用薬剤確認票作成による休薬状況の調査。

第29回日本医療薬学会年会 (ポスター)

(福岡, 2019年11月2-4日)

岩田真子、貝瀬真由美。

返品薬品の再利用・廃棄状況の分析と今後の取り組み (第二報)

第29回日本医療薬学会年会 (ポスター)

(福岡, 2019年11月2-4日)

矢吹剛、山田宜和、貝瀬眞由美。

パロノセトロンからグラニセトロン 3mg へ変更したことによる嘔気・悪心・嘔吐の発現状況調査。

第 29 回日本医療薬学会年会（ポスター）

（福岡， 2019 年 11 月 2-4 日）

山岸宏和。

調剤および注射薬払出システム活用による業務効率化と医療安全への取り組み。

第 54 回病院薬学研修会（講演）

（新潟， 2019 年 11 月 17 日）

著書など

松本一則.

救急領域の読影ポイントを教えて！－単純 CT&CT Angiography(前編)－
日本診療放射線技師会誌 66(10), 42-48 頁, 日本診療放射線技師会, 2019.

松本一則.

救急領域の読影ポイントを教えて！－単純 CT&CT Angiography(中編)－
日本診療放射線技師会誌 66(11), 56-65 頁, 日本診療放射線技師会, 2019.

松本一則.

救急領域の読影ポイントを教えて！－単純 CT&CT Angiography(後編)－
日本診療放射線技師会誌 66(12), 42-48 頁, 日本診療放射線技師, 2019.

学会・研究会・講演会

Tanabe S, Umetsu O, Kuwabara R, Kuribayashi T, Sasage T, Takatou H, Kawaguchi G, Utsunomiya S, Aoyama H.
Accuracy of Novel Real-Time Tumor-Tracking Radiotherapy with KV-MV Simultaneous Irradiation Using High-Dose Rate FFF Beam.
AAPM 61st Annual Meeting and Exhibition (poster) (San Antonio (米国), 2019年7月14-18日)

桑原亮太、栗林俊輝、梅津修、捧俊和、高頭浩正、川口弦、棚邊哲史.

4X線管型動体追跡システムを用いた頭部領域の位置照合における至適撮像条件決定のための視覚評価.
第75回日本放射線技術学会総会学術大会(口演) (横浜, 2019年4月11-14日)

國井正之.

心筋シンチ画像改善について.
第6回P-NET研究討論会(口頭) (新潟, 2019年6月22日)

桑原亮太.

品質保証・品質管理(治療装置・CTシミュレータ)
第16回新潟放射線治療技術懇話会基礎講習会(口述) (上越, 2019年7月20日)

松本一則.

その画像に想いを！－命のために私たちができること－.
第17回名水会フォーラム(講演) (富山, 2019年7月27日)

松本一則.

当院における院内発症脳卒中コール構築への取り組みについて ー診断まで時間を要した1例を経験してー.

第35回日本診療放射線技師学会大会 (ポスター) (埼玉, 2019年9月14-16日)

桐生雅也.

Routine だけじゃない! ~事前情報を駆使した造影の最適化.

第25回南関東 SOMATOM 研究会 (口述) (東京, 2019年10月5日)

佐藤豊、梅津修、栗林俊輝、桑原亮太、捧俊和、高頭浩正、宇都宮悟、棚邊哲史.

FFF-X線に対する円筒型半導体検出器の線量率特性の評価.

第47回日本放射線技術学会秋季学会大会 (口演) (大阪, 2019年10月17-19日)

桑原亮太、栗林俊輝、高頭浩正、佐藤豊、上村直史、金子隼汰、池田紀子、梅津修、捧俊和、川口弦.

新潟大学および(株)島津製作所との共同研究について.

UKB リサーチ 2019 (口演) (南魚沼, 2019年11月1日)

栗林俊輝、桑原亮太、佐藤豊、上村直史、金子隼汰、池田紀子、高頭浩正、川口弦.

放射線治療における患者固定方法の紹介.

UKB リサーチ 2019 (口演) (南魚沼, 2019年11月1日)

松本一則、米岡有一郎.

急性期脳梗塞患者を救え! ー診断から治療開始時間の短縮を目指した取り組みについてー.

UKB リサーチ 2019 (口演) (南魚沼, 2019年11月1日,29日)

桑原亮太、棚邊哲史、栗林俊輝、捧俊和、梅津修、宇都宮悟、上村直史、佐藤豊、高頭浩正、川口弦、青山英史.

SyncTraX FX4 を用いた頭部領域の位置照合における撮像条件の臨床的妥当性.

日本放射線腫瘍学会第32回学会大会 (口演) (名古屋, 2019年11月21-23日)

梅津修、棚邊哲史、栗林俊輝、桑原亮太、佐藤豊、捧俊和、高頭浩正、川口弦、青山英史.

自作ファントムプラットフォームによる動体追跡放射線治療 QA に関する基礎的検討.

日本放射線腫瘍学会第32回学会大会 (ポスター) (名古屋, 2019年11月21-23日)

棚邊哲史、中野永、梅津修、河原大輔、滝澤健司、宇都宮悟、川口弦、青山英史.

動体追跡放射線治療における呼吸同期幅が非小細胞肺癌細胞に及ぼす生物学的影響.

日本放射線腫瘍学会第32回学会大会 (口演) (名古屋, 2019年11月21-23日)

棚邊哲史.

物理部門 画像誘導放射線治療.

日本放射線腫瘍学会第32回学会大会 (教育講演) (名古屋, 2019年11月21-23日)

棚邊哲史.

島津製作所共催セミナー：進化する動体追跡の最新動向「6軸対応、VMAT対応による動体追跡治療の高精度化」.
日本放射線腫瘍学会第32回学術大会（招待講演）（名古屋，2019年11月21-23日）

中町昂史、金子千恵、平野徹、若杉正嗣、勝見敬一。

脊椎手術時のポータブル撮影での工夫。
令和元年度新潟県診療放射線技師会中越地区会（口述）（南魚沼市，2019年11月23日）

中町昂史、金子千恵、丸山暢之、若杉正嗣、勝見敬一、平野徹、生越章。

脊椎手術における外科用イメージ装置の平均透視時間。
第85回新潟脊椎外科研究会及び第238回新潟整形外科研究会（口述）（新潟，2019年11月30日）

桑原亮太、佐藤豊、栗林俊輝、梅津修、捧俊和、棚邊哲史、上村直史、金子隼汰、池田紀子、高頭浩正。

10MV-FFF X線における円筒型半導体検出器の線量率依存性。
第27回新潟放射線治療研究会（口述）（新潟，2020年1月25日）

臨床検査科

論文(原著)

柴田真由美、久保野勝男、笹岡秀之、小林徹、井口啓太、小池敦、高橋一哲、小野等、藤井豊、池上喜久夫、長濱大輔.
臨床検査室における受入不可検体の削減に向けたリスクマネジメント.
生物試料分析 43(2): 153-160, 2020.

学会・研究会・講演会

柴田真由美、笹岡秀之、井口啓太、小池敦、久保野勝男、池上喜久夫、藤井豊、長濱大輔.
魚沼基幹病院における受入不可検体減少へ向けた取り組み.
第 68 回医学検査学会 (口演) (山口, 2019 年 5 月 19 日)

渡邊萌、相澤直孝.
当院における睡眠呼吸障害の診療の実際.
第 16 回新潟睡眠呼吸障害研究会 (口演) (新潟, 2019 年 9 月 7 日)

馬場満、笹岡秀之、石黒杏佳、柴田真由美、小池敦.
内部精度管理から見えた試薬感度変化.
日本臨床検査自動化学会第 51 回大会 (口演) (神奈川, 2019 年 10 月 4 日)

坂西清、高橋周汰、杉山貴大、小池敦、関義信.
造血器腫瘍に対する化学療法中の FN でのプレセプシンの動態 (第 1 報)
令和元年度日臨技北日本支部医学検査学会 (第 8 回) (口演) (山形, 2019 年 10 月 5 日)

柴田真由美.
輸血検査における精度保証の具体的実践 ～ISO 15189 の取得経験から～
第 93 回新潟県臨床検査学会 (講演) (新潟, 2019 年 11 月 16 日)

渋谷大輔、大野仁子、阿部美香、井口啓太、小池敦、長谷川剛、丸山智.
肺腺癌が疑われながらも TTF-1 陰性を呈する症例における細胞組織像の比較検討.
第 58 回日本臨床細胞学会秋期大会 (示説) (岡山, 2019 年 11 月 16 日)

大野仁子、渋谷大輔、阿部美香、井口啓太、小池敦、長谷川剛、丸山智.
超音波気管支鏡ガイド下針生検で経験したアミロイドーマの一例.
第 58 回日本臨床細胞学会秋期大会 (示説) (岡山, 2019 年 11 月 17 日)

馬場満

認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度 について.

令和元年度中越支部ふれあい研修会（口演）

（新潟， 2019年12月7日）

坂西清、目崎恵、岩田真子、関義信

地域内薬剤耐性率低減へ向けた取組み ー院内感染対策合同カンファレンスを活用してー.

第37回日本環境感染学会総会・学術集会（口演）

（神奈川， 2020年2月14日）

リハビリテーション技術科

学会・研究会・講演会

Yoichi Sato, Takahiro Miura, Jiahe Qiu, Masahiro Kohzuki, Osamu Ito.

Effects of long-term exercise on liver cyst formation and fibrosis in polycystic liver disease model rats.

13th International Society of Physical and Rehabilitation medicine World Congress (Oral)

(Kobe, 2019年6月9-13日)

今井遼太、椿淳裕、大口陽子、大津友樹、佐藤陽一、笠井督雄.

定期的な監視型運動療法実施の有無が虚血性心疾患患者の運動耐容能の改善効果に及ぼす影響.

第26回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 (口述)

(大阪, 2019年7月13-14日)

佐藤陽一.

忘れちゃいけない”怖〜い”合併症 「サルコペニア・フレイルを防ぐ」.

第29回新潟糖尿病セミナー (口述)

(新潟, 2019年9月1日)

渡辺慶大、田村俊暁、相澤直孝.

干渉波刺激の導入を契機に経口摂取へ至った脳梗塞慢性期の嚥下障害の1例.

第25回日本摂食嚥下リハビリテーション学会 (口述)

(新潟, 2019年9月6-7日)

今井遼太、椿淳裕、大口陽子、大津友樹、佐藤陽一、笠井督雄.

低頻度外来運動療法の継続による心肺運動負荷試験パラメータの継時的な変化の比較.

日本心臓リハビリテーション学会第4回関東甲信越支部地方会 (ポスター)

(新潟, 2019年9月21日)

大津友樹、大口陽子、佐藤陽一、今井遼太、笠井督雄.

高強度インターバルトレーニングにより運動耐容能の改善が得られた COPD 合併心筋梗塞の一症例.

日本心臓リハビリテーション学会第4回関東甲信越支部地方会 (ポスター)

(新潟, 2019年9月21日)

佐藤陽一、三浦平寛、仇嘉禾、上月正博、伊藤修.

長期的運動とメトホルミンが多発性嚢胞腎モデルラットの肝病変に与える効果.

第27回嚢胞性腎疾患研究会 (口述)

(東京, 2019年10月5日)

椿智子.

多発性骨髄腫に対する作業療法の経験.

第5回北関東信越ブロック学会 第16回新潟県作業療法士学会 (口述)

(新潟, 2019年11月30日)

関悟、若井崇央、寺島健史.

足で操作するスマートフォン ～ALS症例の機器活用とその効果～.

第5回北関東信越ブロック学会 第16回新潟県作業療法士学会 (口述)

(新潟, 2019年11月30日)

佐藤陽一、三浦平寛、仇嘉禾、上月正博、伊藤修。

長期的運動が多発性肝嚢胞モデルラットに与える効果。

第24回日本基礎理学療法学会学術大会（ポスター）

（新潟，2019年11月30日-12月1日）

今井遼太、大口陽子、大津友樹、佐藤陽一、八木俊哉、山口征吾、大橋さとみ。

当院救命救急・外傷センターにおける理学療法士の専任配置による効果。

第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会（口述）

（新潟，2019年12月14-15日）

佐藤陽一、今井遼太、八木俊哉、大口陽子、大津友樹、飯野則昭。

当院における腎臓リハビリテーションの取り組み。

第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会（口述）

（新潟，2019年12月14-15日）

八木俊哉、大津友樹、今井遼太、大口陽子、佐藤陽一、関八重子、佐藤悠紀子、遠藤義幸、伊藤竜、大橋和政。

当院における「3学会合同呼吸療法認定士」取得に向けた多職種勉強会の試み。

第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会（口述）

（新潟，2019年12月14-15日）

大津友樹、渡辺慶大、関悟、大口陽子、米岡有一郎。

早期離床を目指した脳卒中離床基準の作成と運用。

第1回新潟県リハビリテーション専門職学術大会（口述）

（新潟，2019年12月14-15日）

研究費(その他)

佐藤陽一：宮城県腎臓協会研究助成 2018-2020年度

多発性嚢胞腎の腎病変及び肝病変に対する運動療法の機序解明。

論文(総説)

配野治、遠藤義幸、田辺克也、児玉圭太、斉藤司.

安全な操作のために<12> 「体外循環に用いられる抗凝固薬」

第 26 回日本体外循環技術医学会関東甲信越地方会大会抄録集 63-66, 2019.

配野治、遠藤義幸、田辺克也、児玉圭太、斉藤司.

安全な操作のために<13> 「体外循環中の体温管理について」

2019 年度 JaSECT 関東甲信越地方会ニュース 17-18, 2019.

学会・研究会・講演会

山田竜、勝又稔、遠藤義幸ほか.

当院における医療機器管理システム MARIS の導入.

第 29 回日本臨床工学会 (口演)

(盛岡, 2019 年 5 月 19 日)

遠藤義幸、小嶋絹子、鈴木博ほか.

小児用ネーザルハイフローシステムを使用して在宅管理に移行した一例.

第 41 回日本呼吸療法医学会学術集会 (口演)

(大阪, 2019 年 8 月 4 日)

遠藤義幸、勝又稔、渡部達範ほか.

大容量サーバー保存式手術映像システムにおける過剰録画の検討.

第 41 回日本手術医学会総会 (口演)

(東京, 2019 年 9 月 29 日)

学会・研究会・講演会

常山智佳、恩田佳代子、本田恵理、篠原未希、原澤友里恵、田嶋直哉、鈴木博。

食物アレルギーのこどもたちのために病院管理栄養士ができること。

UKB リサーチ 2019 (ポスター)

(南魚沼市, 2019年11月1日)

魚沼基幹病院市民公開講座

第1回

(2019年5月26日)

- 歯科口腔外科 加納 浩之 「お口の健康と体の健康について」
循環器内科 笠井 督雄 「心臓病 ～生活習慣や癌との関わり～」
内分泌・代謝内科 小原 伸雅 「知っていますか？糖尿病のこと」

第2回

(2019年9月1日)

- 呼吸器・感染症内科 伊藤 竜 「みんなで学ぼう、肺がんのこと」
精神科 湯川 尊行 「睡眠障害の対応と治療 ～快眠のためのヒント～」
整形外科 目良 恒 「あなたが変形性膝関節症といわれたら心がけてほしいこと」

第3回

(2019年11月10日)

- 栄養管理科 恩田 佳代子 「食べて健康長寿を目指そう！ ～「誤嚥」予防の食事について～」
脳神経外科 米岡 有一郎 「低侵襲手術と脳動脈血栓回収術について」
血液内科 関 義信 「飲み薬で白血病が治るって本当？ ～知って得する血液疾患のお話～」

院内感染対策研修会

第1回

外部講師

第2回

外部講師

第3回

(2019年12月10日)

- 血液内科 関 義信 インフルエンザウイルスってどんなもの？
医療安全管理室 目崎 恵 病院におけるインフルエンザ対策
薬剤部 岩田 真子 インフルエンザ治療薬と使用上の留意点～2019-2020～

第4回

(2020年2月25-28日)

- 臨床検査科 坂西 清 新型コロナウイルスとは？現状と臨床
医療安全管理室 目崎 恵 感染対策

Annals of Uonuma Kikan Byoin

VOL.4

発行者 病院長 鈴木 榮一
教育センター長 高田 俊範

発行 令和2年8月20日

発行所 一般財団法人新潟県地域医療推進機構
魚沼基幹病院
〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐4132
TEL 025-777-3200
FAX 025-777-2811
<https://www.uonuma-kan-hospital.jp/>

編集担当 総務課総務係 米山 良英
※電子データが必要な場合は、編集担当までご連絡ください。



新潟大学地域医療教育センター
魚沼基幹病院